

令和 7 年度
旭川市社会教育基本計画
点検・評価報告書（原案）

令和 7 年（2025 年）7 月
旭川市教育委員会 社会教育部

目 次

社会教育基本計画の点検・評価について	1
基本目標 1（市民一人一人の主体的な学びの機会の充実）	3
基本目標 2（市民の学びを支える環境の整備）	13
基本目標 3（地域における学びの循環）	20
基本目標 4（市民の心を豊かにする文化芸術活動の充実）	29
基本目標 5（郷土文化の保存・活用と郷土愛の育成）	36

社会教育基本計画の点検・評価について

1 点検・評価の目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」では、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」とします。）を行い、その結果に関する報告書を作成することとされています。

これを受け社会教育部では、「旭川市社会教育基本計画」に基づき、前年度に実施した事業や取組について点検・評価を行っており、本報告書はその結果をまとめたものです。

旭川市社会教育委員会議での審議や学識経験者への意見聴取を経て、本報告書と、学校教育部が別途行う「学校教育基本計画」に基づく点検・評価とを併せて、「旭川市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書(案)」としてとりまとめた上で、教育委員会会議で議決の後、市議会へ提出するとともに、公表します。

2 点検・評価の対象

社会教育部が令和6年度に行った事業や取組を対象に、点検・評価を行っています。

3 点検・評価の方法

(1) 「基本目標」と「成果目標」について

「旭川市社会教育基本計画（計画期間：平成28年度～令和9年度）」では、計画に掲げられる5つの「基本目標」ごとに、社会教育行政により「どのような状況を目指したいのか」という点を「成果目標」として設定しています。さらに、この成果目標の達成度を数値的に把握するための「成果指標」を設定しており、これが令和3年度の目標値に達した場合に「達成」、達していない場合に「未達成」として、達成状況を示しています。また「未達成」指標については、前年度の実績値との比較結果を示しています。

(2) 「基本施策」について

「基本施策」では、具体的な事業や取組についてその実績を記述するとともに、一部の事業や取組については、グラフを用いて経年変化の状況を示しています。

(3) 「今後の課題と改善に向けた方向性」について

主な事業や取組について、その課題を整理するとともに、今後の事業改善へ向けた方向性等を、具体的に記述しています。

(参考) 「旭川市社会教育基本計画」の体系

社会教育推進基本方針			
<p><u>基本理念</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学び、その成果を地域づくりに生かす ○地域を知り、学び合いながら、絆を深め、郷土愛を育む 			
社会教育基本計画			
基本目標	成果目標	基本施策	主な取組
基本目標 1 市民一人一人の主体的な学びの機会の充実	成果目標 1 子育て世代や高齢期などの人生における各段階で直面する課題や社会的な課題を解決できるよう、学びに関する情報提供を行うとともに、様々な学びのニーズに応えることができるよう学習機会の充実を図る。	基本施策 1-1 多様なニーズに対応した学習機会、学習情報の提供	主な取組 1-1-1 現代的・社会的な課題やニーズに対応した学習の推進 主な取組 1-1-2 ライフステージに応じた学習機会の充実 主な取組 1-1-3 学習機会の選択を支援する情報提供の充実
		基本施策 1-2 子育てをする家庭の教育力の向上	主な取組 1-2-1 親や保護者の育ちを支援する取組の充実 主な取組 1-2-2 親や保護者を孤立させない環境の整備
基本目標 2 市民の学びを支える環境の整備	成果目標 2 社会の変化や新たなニーズに応じた施設運営や本市の特性を生かした事業を展開するなど、市民が学習しやすい環境を整備する。	基本施策 2-1 施設運営や事業展開に工夫を凝らした学習しやすい環境の整備	主な取組 2-1-1 市民の学習ニーズに応じた学習環境の整備 主な取組 2-1-2 関係機関等との多様な連携による学習環境の整備
		基本施策 3-1 地域における教育力の向上	主な取組 3-1-1 市民が主体となって学習成果を還元できる環境の整備 主な取組 3-1-2 地域社会を担う団体や人材の育成支援
基本目標 3 地域における学びの循環	成果目標 3 シニア世代をはじめとした地域の人材を活用し、学習成果を還元する取組を充実させるほか、家庭、地域、学校が連携し、つながりを深めながら学び合える環境を整備する。	基本施策 3-2 家庭、地域、学校の連携の推進	主な取組 3-2-1 家庭、地域、学校の連携による青少年などの活動を支援する取組の充実
		基本施策 4-1 文化芸術活動に関わりを持つ機会の充実と独自性ある取組の充実	主な取組 4-1-1 文化芸術に親しむ機会の充実 主な取組 4-1-2 文化芸術活動への支援
基本目標 4 市民の心を豊かにする文化芸術活動の充実	成果目標 4 人々が気軽に文化芸術に触れられる取組を進めるとともに、団体等への支援や関連施設を更に活用することにより、文化芸術の振興を図る。	基本施策 5-1 郷土の文化の保存・活用と郷土愛の育成	主な取組 5-1-1 郷土の文化や歴史的資料の適切な保存と有効活用 主な取組 5-1-2 郷土愛を育むための取組の推進
		基本施策 5-1 郷土の文化の保存・活用と郷土愛の育成	主な取組 5-1-1 郷土の文化や歴史的資料の適切な保存と有効活用 主な取組 5-1-2 郷土愛を育むための取組の推進
基本目標 5 郷土文化の保存・活用と郷土愛の育成	成果目標 5 アイヌ文化をはじめ地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等の魅力を発信しながら、次代へ引き継ぐとともに、郷土愛を育む。	基本施策 5-1 郷土の文化の保存・活用と郷土愛の育成	主な取組 5-1-1 郷土の文化や歴史的資料の適切な保存と有効活用 主な取組 5-1-2 郷土愛を育むための取組の推進

(2) 旭川市社会教育基本計画

社会教育 基本目標 1 市民一人一人の主体的な学びの機会の充実

【成果目標 1】市民が、主体的に学び、人生における各段階で直面する課題や社会的な課題を解決できるよう、学びに関する情報提供を行うとともに、様々な学びのニーズに応える学習機会の充実を図ります。

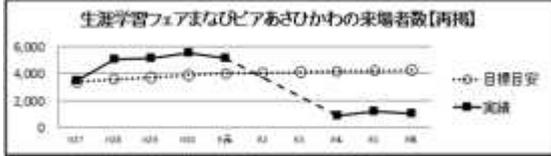
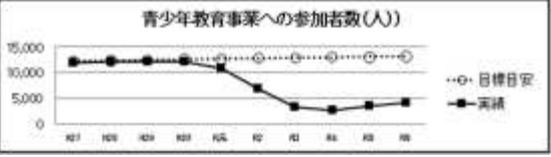
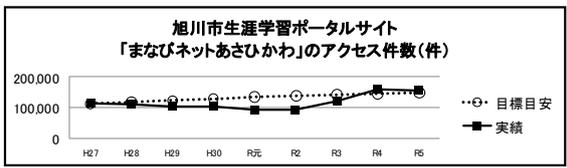
I 活動指標及び成果指標の状況

1 施設等の利用者及び事業参加者の意識について

(1) 活動指標 (行政の取組に対する評価)

活動指標 1		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
社会的な課題やライフステージに対応した課題を解決するための講座の受講者数	社会教育課*1	4,250 人	1,051 人	未達成	⬇
	公民館事業課	122,376 人	55,188 人	未達成	⬇
	中央図書館	258 人	253 人	未達成	⬇
	科学館	56,590 人	78,002 人	達成	—
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>社会教育課 *1</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>公民館事業課</p> </div> </div>					
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>中央図書館</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>科学館</p> </div> </div>					
活動指標 2		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
社会的な課題やライフステージに対応した課題を解決するための講座への参加者の満足度(事業内容が役立った)	社会教育課	85.0%	86.7%	達成	—
	公民館事業課	84.0%	94.5%	達成	—
	科学館	100.0%	94.4%	未達成	⬇
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>公民館事業課</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>社会教育課</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者アンケート調査(生涯学習フェアまなびピアあさひかわ等) 84.7%(R5:調査開始) → 86.7%(R6) <p>科学館</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者アンケート調査(講座・イベント) 97.1%(R5:調査開始) → 94.4%(R6) </div> </div>					
活動指標 3		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
事業に参加して、学びたいことを学ぶことができた参加者の割合(自分の課題や社会的な課題を解決するのに役立った)	社会教育課	79.0%	84.1%	達成	—
	彫刻美術館	79.0%	84.0%	達成	—
	中央図書館	90.0%	91.9%	達成	—
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>社会教育課</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者アンケート調査(生涯学習フェアまなびピアあさひかわ等) 78.3%(R5:調査開始) → 86.7%(R6) <p>中央図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者アンケート調査(各種事業) 99.0%(R5:調査開始) → 91.9%(R6) </div> <div style="width: 45%;"> <p>彫刻美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者アンケート調査(各種事業) 78.1%(R5:調査開始) → 84.0%(R6) </div> </div>					

*1 R2・R3 は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から調査未実施。

活動指標 4		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
青少年活動に関する事業への参加者数	社会教育課	4,250人	1501人	未達成	➡
	彫刻美術館	639人	810人	達成	—
	公民館事業課	13,238人	4,167人	未達成	↔
	中央図書館	105人	253人	達成	—
社会教育課 		彫刻美術館 ・参加者数（彫刻巡回展示出前授業の参加児童生徒数、こども彫刻教室の参加者数） 581人（R5：調査開始）→ 810人（R6）			
公民館事業課 		中央図書館 ・参加者数（読書講演会、子育て支援絵本講座の参加者数） 101人（R5：調査開始）→ 253人（R6）			
活動指標 5		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
ライフステージに対応した講座数	社会教育課	56回	722回	達成	—
	公民館事業課	3,912回	3,923回	達成	—
社会教育課 ・講座数（地域学校協働活動事業実施回数） 51回（R5：調査開始）→ 722回（R6）		公民館事業課 ・講座数（家庭教育支援、青少年教育、成人・高齢者学習等） 3,874回（R5：調査開始）→ 3,923回			
活動指標 6		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
まなびネットあさひかわのアクセス件数	社会教育課	151,875件	200,023件	達成	—
社会教育課 					
活動指標 7		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
学びに関する情報冊子等に登録している活動数	社会教育課	100件	92件	未達成	➡
	公民館事業課	529団体	512団体	未達成	➡
社会教育課 ・活動数（あさひかわ学びの応援講座の登録講座数） 98件（R5：調査開始）→ 92件（R6）		公民館事業課 ・活動数（生涯学習活動団体の登録数） 529団体（R5：調査開始）→ 512団体（R6）			
活動指標 8		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
学びに関する情報提供を行っていると思う参加者の割合	公民館事業課	81.0%	92.0%	達成	—
公民館事業課 ※R5 調査未実施 ・生涯学習活動団体アンケート調査					

活動指標 9		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
家庭教育の支援に関する講座への参加者数	社会教育課	190 人	213 人	達成	—
	公民館事業課	8,399 人	2,901 人	未達成	↘
社会教育課 ・参加者数（家庭教育支援講座） 185 人 (R5：調査開始) → 213 人 (R6)		公民館事業課 			
活動指標 10		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
家庭教育の支援に関する講座の実施回数	社会教育課	7 回	5 回	未達成	↘
	公民館事業課	208 回	203 回	未達成	↘
社会教育課 ・実施回数（家庭教育支援講座） 6 回 (R5：調査開始) → 5 回 (R6)		公民館事業課 ・実施回数（家庭教育支援講座） 206 回 (R5：調査開始) → 203 回 (R6)			
活動指標 11		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
家庭教育に関する情報提供の回数	社会教育課	4 回	1 回	未達成	↘
	公民館事業課	12 回	12 回	達成	—
社会教育課 ・情報誌の発行回数（家庭教育・子育て情報誌等） 1 回 (R5：調査開始) → 1 回 (R6)		公民館事業課 ・情報の発信回数（公民館・子育てサロン情報） 12 回 (R5：調査開始) → 12 回 (R6)			
活動指標 12		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
子育てや家庭教育についての情報提供や学ぶ機会が充実していると感じる参加者の割合	社会教育課	—	調査未実施	—	—
	公民館事業課	97.0%	98.1%	達成	—
社会教育課 ※R6 調査未実施 ・家庭教育支援に関する講座参加者へのアンケート調査 32.1% (R5：調査開始)		公民館事業課 ・公民館利用者へのアンケート調査 96.7% (R5：調査開始) → 98.1% (R6)			

(2) 成果指標（施設等の利用者及び事業参加者の意識や行動）

成果指標 1		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
事業に主体的に参加し、学ぶことができた参加者の割合	社会教育課	61.0%	52.1%	未達成	↘
	中央図書館	90.0%	98.7%	達成	—
	全 体	75.5%	75.40%	未達成	—
社会教育課 ・参加者アンケート調査（生涯学習フェアまなびピアあさひかわ等） 60.0% (R5：調査開始) → 52.1% (R6)		中央図書館 ・参加者アンケート調査（図書館事業活動） 100.0% (R5：調査開始) → 98.7% (R6)			
全 体 ・参加者アンケート調査 80.0% (R5：調査開始) → 75.4% (R6)					

成果指標 2		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
これからも、学んでいこうと思っている参加者の割合	社会教育課	83.0%	92.5%	達成	—
	彫刻美術館	—	調査未実施	—	—
	公民館事業課	100.0%	93.1%	未達成	➡
	中央図書館	90.0%	99.4%	達成	—
	科学館	100.0%	98.4%	未達成	R5 調査未実施
	全 体	93.3%	95.9%	達成	—
社会教育課 ・参加者アンケート調査（各種事業） 82.4% (R5：調査開始) → 92.5% (R6) 中央図書館 ・参加者アンケート調査（図書館事業活動） 98.0% (R5：調査開始) → 99.4% (R6) 彫刻美術館 ※R5・R6 調査未実施 科学館 ※R5 調査未実施		公民館事業課 ・利用者アンケート調査 94.6% (R5：調査開始) → 93.1% (R6) 全 体 ・参加者アンケート調査 91.7% (R5：調査開始) → 95.9% (R6)			

2 市民の意識について

(1) 活動指標（行政の取組に対する評価）

活動指標 1 3		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
社会的課題やライフステージに対応した様々な学びのニーズに応えていると感じる市民の割合	市政モニター*1	37.1%	42.7%	↗
	・市政モニターアンケート調査 37.1% (R5：調査開始) → 42.7% (R6)			
活動指標 1 4		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
この1年間に公的機関における講座や教室で生涯学習を行った市民の割合	市政モニター	10.7%	14.5%	↗
	・市政モニターアンケート調査 10.7% (R5：調査開始) → 14.5% (R6)			
活動指標 1 5		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R5実績値との比較
趣味・教養の講座や今日的な課題などについて学ぶ機会が充実していると感じる市民の割合	市民アンケート*2	24.7%	—	—
活動指標 1 6		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
生涯学習に関する情報を十分に得られている市民の割合	市政モニター	31.4%	29.0%	➡
	・市政モニターアンケート調査 31.4% (R5：調査開始) → 29.0% (R6)			

*1 市民アンケートは隔年実施。

R5年度調査（調査期間：R5.5.12～6.2、調査対象者：18歳以上の旭川市民3,000人、回答者：1,524人）

*2 市政モニターアンケート

（調査期間：R7.5.12～5.18、調査対象者：市政モニター登録者227人、回答者：131人）

活動指標 17		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
子育てや家庭教育についての情報提供や学ぶ機会が充実していると感じる市民の割合	市政モニター	30.2%	37.4%	↗
・ 市政モニターアンケート調査 30.2% (R5 : 調査開始) → 37.4% (R6)				
活動指標 18		目標値 (R5)	実績値 (R7)	R5実績値との比較
生涯を通じた学びの振興に満足している市民の割合	市民アンケート	15.2%	-	-

(2) 成果指標 (市民の意識や行動)

成果指標 3		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
職業や生活に必要な知識を身に付けたり、自己実現を図ったりするために、主体的に学び続けている市民の割合	市政モニター	58.5%	56.5%	↘
・ 市政モニターアンケート調査 58.5% (R5 : 調査開始) → 56.5% (R6)				
成果指標 4		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
自ら学習に取り組もうとしている人が多いと思う市民の割合	市政モニター	32.1%	29.8%	↘
・ 市政モニターアンケート調査 32.1% (R5 : 調査開始) → 29.8% (R6)				

II 取組の状況

【基本施策 1 - 1 社会的な課題や多様なニーズに対応した学習機会、学習情報の提供】

主な取組 1 - 1 - 1 現代的・社会的な課題や多様なニーズに対応した学習の推進

1 国際化に伴う異なる文化・習慣への理解の促進

- ・ 社会教育課では、「まなびピアあさひかわ実行委員会」が開催した生涯学習フェア（共催：旭川市教育委員会）で、市長部局と連携して本市の姉妹友好都市を紹介するパネル展を実施したほか、出展団体による韓国の伝統的な衣装の試着体験、青年海外協力隊に関するクイズの実施など、他国の文化や習慣等に関する学びの機会を提供しました。来場者アンケートでは「身の周りの問題について学ぶことができた」と回答した方は83.4%であり、他国の文化や習慣についての学習機会を提供することができました。
- ・ 公民館では、海外居住経験者等から南アフリカや中国について学ぶ講座を実施し、事業後アンケートでは「自分の課題や社会的な課題を解決するために役立ったと思うか」について肯定的な回答が97.5%であり、国際化に係る多様な問題について考える学習機会を提供することができました。

2 身の周りや地球規模での資源・環境問題への理解の促進

- ・ 社会教育課では、生涯学習フェアで市長部局と連携し、ごみの処理や資源化などについて学ぶパネル展の開催とともに、出展団体による環境講座が実施されるなど、多くの方に環境問題について理解を深める機会を提供し、来場者アンケートで「身の周りの問題について学ぶことができ

た」と回答した方は83.4%であり、環境や資源についての学習機会を提供することができました。

ジオパーク^{*1}構想推進事業では、上川盆地の各地域を巡るツアーや大雪山の成り立ちを学ぶ研修会等を実施して、構想地域の地形や生態系、収穫される農産物などについて学ぶ機会を提供し、参加者アンケートでは100%の方が「地域の自然や火山について学ぶことができた」と回答しました。

- ・ 公民館では、環境アドバイザーの協力により、大雪山や石狩川をはじめとする地域資源から本市の自然・環境について学ぶ講座等を実施し、事業後アンケートでは「自分の課題や社会的な課題を解決するために役立ったと思うか」について肯定的な回答が97.5%であり、多様な資源・環境問題について考える学習機会を提供することができました。
- ・ 科学館では、「科学館 de SDGs」や「自然体験学習（特定外来生物ウチダザリガニを捕まえようなど）」を実施し、参加者から「理解が深まった」「楽しみながら学ぶことができた」「実際に生物に触れることでより深く知ることができた」「環境保全の重要性が理解できた」との感想が寄せられ、アンケート調査では、参加者の96%が学ぶことができたと回答しており、SDGsへの理解促進、外来種問題への認識や環境保全の重要性を知る学習機会を提供しました。

3 情報化に伴うICTの利活用の促進

- ・ 公民館では、初心者を対象としたスマートフォンやパソコン講座等を実施し、事業後アンケートでは「自分の課題や社会的な課題を解決するために役立ったと思うか」について肯定的な回答が97.5%であり、ICTの利活用促進につながる学習機会を提供することができました。
- ・ 科学館では、「パソコン基礎講座」「レッツプログラミング」「親子ではじめるプログラミング講座」「Python入門講座」といった実技を取り入れた講座を実施し、参加者から「理解が深まった」「プログラミングへの興味関心が高まった」との感想が寄せられ、アンケート調査では、参加者の97%が学ぶことができたと回答しており、ICTの利活用促進につながる学習機会を提供しました。

4 デジタルデバイド（情報格差）の解消及びデジタルリテラシーの向上を図る学習の促進

- ・ 科学館では、「パソコン基礎講座」「はじめてのスマートフォン講座」をデジタル格差が生じる世代を中心に必要な知識や注意点を伝える学習機会を提供し、参加者から「聞きたいこと、知りたいことが分かった」「生活に必要なことなので講座があるのは助かる」との感想が寄せられ、デジタル格差の解消やデジタルリテラシーの向上を図る学習機会を提供することができました。
- ・ 公民館では、スマートフォン講座として、初心者向けの講座や詐欺対策・情報モラル向上を目的とした講座を実施し、事業後アンケートでは「自分の課題や社会的な課題を解決するために役立ったと思うか」について肯定的な回答が97.5%であり、市民のデジタルデバイドの解消やデジタルリテラシーの向上に向けた取組を進めることができました。

主な取組1-1-2 ライフステージに応じた学習機会の充実

1 幼児、青少年期の生きる力を身に付ける学習機会の提供

- ・ 社会教育課では、地域学校協働活動において、学校における活動数が昨年度と比較して約30%増加しており、学習機会の充実を図りました。

生涯学習フェアでは、子どもたちが楽しく学べるようクイズラリーを取り入れ、参加した子どもたちから「楽しみながら学ぶことができた」「クイズが楽しかった」「知らないことを学ぶことができた」といった感想が寄せられました。

- ・ 公民館では、自然散策やものづくり、料理などの体験事業等を実施し、事業後アンケートでは「学びたいことを学ぶことができたか」について肯定的な回答が94.1%であり、幼児、青少年期のライフステージに対応した学習機会を提供することができました。

*1 ジオパーク：地球科学的意義のあるサイトや景観が保護、教育、持続可能な開発の全てを含んだ総合的な考え方によって管理された1つにまとまったエリア。

- ・ 中央図書館では、小学生の施設見学や子ども司書の活動、中・高校生や短期大学生によるインターンシップの受入れなどの学習機会の提供により、図書館の業務や本に関する知識を深めることができました。
- ・ 彫刻美術館では、講師の指導を受けながら造形活動を行う「こども彫刻教室」や、小中学生が学校で優れた芸術作品を気軽に鑑賞する機会を提供する「彫刻巡回展示」を実施しました。また、特別支援学校（聾学校、盲学校）で彫刻巡回展示を行うなど、彫刻や美術の学びを深める学習機会の充実を図りました。

2 成人期のキャリアアップや趣味、教養に関する学習機会の提供

- ・ 社会教育課では、生涯学習フェアで実施したアンケート調査で「学びたいことを学ぶことができた」と成人期の77%が回答するなど、様々な事柄について学ぶ機会を効果的に提供することができました。
- ・ 公民館では、ボランティア養成講座や、金融、健康、芸術、ニュースポーツ等、趣味や教養に関する幅広い分野の事業を実施し、事業後アンケートでは「学びたいことを学ぶことができたか」について肯定的な回答が94.1%であり、成人期の多様なニーズに対応した学習機会を提供することができました。
- ・ 図書館では、野菜作りやヘリコプターの仕組み、旭川の歴史など多様なテーマの講座を開催し、関連する本を紹介するなど市民の学びにつなげ、アンケートでは、「学びたいことを学べた、今後も参加したい」という意見が寄せられ、市民の学びに寄与しました。
- ・ 彫刻美術館では、参加者を子どもに限定しない「みんなの彫刻教室」の開催や公民館等の市有施設で「彫刻巡回展示」を実施し、世代に偏らない学習機会の充実を図りました。また、大人を対象とした「おとな彫刻教室」を実施し、現役世代を対象とした学習機会を提供しました。

3 高齢期の生きがいづくりなどに関する学習機会の提供

- ・ 社会教育課では、生涯学習フェアにおいて実施した来場者アンケートで、高齢期の約93%が「学びたいことを学ぶことができた」と回答し、高齢期の学習機会の充実を図りました。
- ・ 公民館では、シニア大学や各公民館の百寿大学を中心に、高齢者が社会と関わりを持ちながら豊かに人生を過ごせるよう、参加者同士のつながりづくりや、一般教養、軽スポーツなどの講座を実施し、事業後アンケートでは「学びたいことを学ぶことができたか」について肯定的な回答が94.1%であり、高齢期の生きがいづくりや多様なニーズに対応した学習機会を提供することができました。

主な取組 1-1-3 学習機会の選択を支援する情報提供の充実

1 講師情報や活動団体に関する情報の提供

- ・ 社会教育課で運用している生涯学習ポータルサイト「まなびネットあさひかわ」については、可能な範囲で見やすく、使いやすくなるように表示画面や表記の変更を行い、利用者の利便性向上に努めました。
- ・ 公民館では、公民館を拠点に生涯学習活動を行う団体の情報をインターネットや館内掲示、公民館だより等の紙媒体で提供したほか、生涯学習活動団体と連携し、体験・見学会を実施しました。事業後アンケートでは「公民館が、学びに関する情報提供を行っていると思うか」について92.0%が肯定的な回答であり、公民館を拠点に活動する団体等の情報を提供することができました。

2 課題解決を支援する各種情報の提供

- ・ 社会教育課では、行政や民間が実施する92の講座を掲載した「あさひかわ学びの応援講座」を市内の小中学校や町内会等に配布したほか、ホームページで情報発信を行いました。
- ・ 図書館では、窓口でのレファレンスサービス^{*1}を通じて、市民の「知りたい」「学びたい」とい

*1 調査相談サービス。利用者からの求めに応じた文献や図書の紹介・提供等のサービス。

う要望に応え、主体的な学びの支援と情報提供を行いました。

【基本施策 1-2 子育て家庭への支援体制の充実】

主な取組 1-2-1 保護者の育ちを支援する学習機会の充実

1 家庭教育に関する学習機会の充実

- ・ 社会教育課では、小学生がメディアを利用する際の注意点等をまとめたチラシを作成し、保護者と子どもが多く集まる催しなどで配布をしたり、助言したりしました。
- ・ 公民館では、子育てサロンや保護者に対する育児講座、親子で学ぶSDGs、金融、料理講座等を実施し、事業後アンケートでは「子育てや家庭教育についての情報提供や学習機会を充実させていると思うか」について、肯定的な回答が98.1%であり、保護者への家庭教育に関する学習機会を提供することができました。

2 父親の家庭教育への参加を支援する取組の充実

- ・ 公民館では、親子参加型事業の一部を土曜日や日曜日に開催することで父親も参加しやすい環境づくりを行い、事業後アンケートでは「子育てや家庭教育についての情報提供や学習機会を充実させていると思うか」について、肯定的な回答が98.1%であり、父親の家庭教育への参加を支援する取組を進めることができました。

主な取組 1-2-2 保護者を孤立させない支援体制の充実

1 家庭教育に関する情報の提供

- ・ 社会教育課では、保護者と子どもが多く集まる催しで「学びカフェ」を開催し、家庭教育ナビゲーターが保護者から子育てに関する悩み等の聞き取りを行うとともに、メディアを利用する際の注意点、食や生活習慣に関する情報提供を行いました。
- ・ 公民館では、子育てに関する講座や育児サークルの情報をインターネット等で毎月提供し、事業後アンケートでは「子育てや家庭教育についての情報提供や学習機会を充実させていると思うか」について、肯定的な回答が98.1%であり、保護者に対し家庭教育に関する情報を提供することができました。

2 子育て中の保護者のネットワークづくりの支援

- ・ 社会教育課では、保護者がネットワークづくりを行う場となる「子育てサロン」などに関わる家庭教育支援者を対象とした研修会を実施し、支援者のスキルアップを支援しました。また、家庭教育支援者と意見交換を行い、研修会の内容に意見を取り入れました。
- ・ 公民館では、地域の民生児童委員連絡協議会等との連携により子育てサロンを実施し、事業後アンケートでは「子育てや家庭教育についての情報提供や学習機会を充実させていると思うか」について、肯定的な回答が98.1%であり、参加した保護者同士の交流を促進するとともに、情報提供等により支援することができました。

Ⅲ 課題と改善に向けた今後の方向性

市民が主体的に学び、人生における各段階で直面する課題や社会的な課題を解決できるよう、各事業・施設で解決すべき社会的な課題を明確にするとともに、アンケート調査結果等を踏まえながら学びのニーズを把握し、ニーズに応える学習機会の充実を図ります。

《基本目標 1 市民一人一人の主体的な学びの機会の充実》

事業後に参加者に行ったアンケートでは、「事業に主体的に参加し、学ぶことができた参加者の割合」は約75%、「これからも学んでいこうと思っている参加者の割合」は約96%であり、昨年度より微減してはいますが、主体的な学びの機会を提供できていると考えられます。

しかしながら、市政モニターアンケートでは、「職業や生活に必要な知識を身に付けたり、自己実現を図ったりするために、主体的に学び続けている市民の割合」が約57%、「自ら学習に取り組もうとしている人が多いと思う市民の割合」が約30%と、昨年度同様、事業後アンケートの結果よりも低い数値となっています。さらに、今年度は、市政モニターアンケートの結果が昨年度より減少しています。

一方、「社会的課題やライフステージに対応した様々な学びのニーズに応えていると感じる市民の割合」は約43%、「子育てや家庭教育についての情報提供や学ぶ機会が充実していると感じる市民の割合」は約37%と昨年度より上昇しています。

これらの結果を踏まえ、引き続き、市民のニーズを把握しながら、市民のニーズと社会的な課題を学ぶ機会をうまくマッチングさせ、市民が主体的に学ぶ機会の充実を図る事業の実施や体制づくりに取り組みます。

＜1-1-1 現代的・社会的な課題や多様なニーズに対応した学習の推進＞

○ 社会教育課では、生涯学習フェアで実施したアンケート調査において、「身の周りの問題について学ぶことができた」と回答した方は約83%でした。より一層多様な社会的課題を学ぶ機会となるよう、今後も様々な団体と連携し学びの機会を充実させます。

ジオパーク構想の推進では、川から大雪山地域にある特異な地形やその成り立ちの理解を深めるため、ラフティングを取り入れたジオ・ツアーを実施しました。この事業後のアンケート調査結果を見ると、「川の魅力が分かった」と答えた参加者は約83%でしたが、「大雪山の自然について分かった」と答えた参加者は約59%に留まったことから、今後は、大雪山と川のつながりをテーマとしたプログラムを取り入れ、大雪山全体の魅力を体感できる機会を創出します。

○ 公民館では、社会的要請を踏まえ、国際交流や地域資源・環境問題について考えるきっかけとなる講座を、関係団体のノウハウを活用し、引き続き実施していきます。

I C T講座については、初心者向けの需要が高いことから引き続き民間事業者等と連携して講座を実施するとともに、詐欺対策など情報モラルの向上を目的とした講座の充実にも努めていきます。

○ 科学館では、いずれの事業も参加者の多くから継続と、事業内容や参加機会の拡充を求める声が多く寄せられていますが、科学館が単独で多様な事業を実施し、多数の参加希望者を受け入れ続けるには限りがあります。

今後は、参加者が学習内容をより深められるよう工夫を重ね、学習者の多様なニーズに応じるために、外部の組織や団体との連携・協力関係の構築、外部講師の活用など、様々な手法を検討していきます。

＜1-1-2 ライフステージに応じた学習機会の充実＞

○ 社会教育課では、生涯学習フェアで実施した来場者アンケートにおいて「学びたいことを学ぶことができた」と回答した方は約84%であり、これまでのパネル展示やクイズ等以外にも様々な学習提供の手法を検討し、各世代が楽しみながら学びを深められるよう内容の工夫を重ねていきます。

地域学校協働活動では、引き続き、学校や地域と連携しながら、子どもが地域について学び、多様な体験ができるようコーディネートしていきます。

- 公民館では、ライフステージに合わせて多様な体験や学習機会となるよう講座を実施していますが、新たな講師発掘やニーズの把握に努め、自主的に学ぼうとする市民が増えるよう取り組んでいきます。
- 図書館が実施したアンケート調査には、好意的な意見が多く寄せられていますので、引き続き、市民の生活や趣味、調査研究により一層役立ち、魅力のある学習機会を提供していきます。また、参加して終わりではなく、その後もライフステージに合わせて主体的に学び続けられるよう努めていきます。
- 彫刻美術館では、彫刻巡回展示や彫刻教室等の教育普及活動を通じ、子どもから大人まで多様な世代の多くの市民が、彫刻の魅力に触れられる機会を提供しつつ、今後も、様々な手法を用いながら、彫刻をはじめとした美術に関心を持つ年齢層の拡大に取り組んでいきます。
また、彫刻巡回展示については、より多くの学校に鑑賞の機会を提供することができるよう、事業のより一層の周知に努めます。
なお、事業の実施に当たっては、講師や美術関係者等と協議を重ねながら内容を検討します。

< 1-1-3 学習機会の選択を支援する情報提供の充実 >

- 社会教育課で運用する生涯学習ポータルサイト「まなびネットあさひかわ」については、より効果的かつ効率的に情報発信できるサイトとなるよう検討していきます。
また、昨年度のサイトのリニューアル後、アクセス件数は増加傾向にあることから、引き続き、情報の充実に努めます。
- 公民館では、インターネットや公民館だより等の多様な媒体で、公民館を拠点として様々な活動に取り組む団体やサークルの情報を発信し、市民がそれぞれの学習ニーズに合った情報を取得できるようにしていきます。また、地域への協力を希望する団体の情報を、小中学校等へ提供、コーディネートに努めるなど、地域学校協働活動の拠点としての役割を果たしていきます。
- 図書館では、日常生活における課題解決（レファレンス）を支援する施設であることを周知していきます。また、昨今の社会の変化やニーズに合わせ、印刷物とともにインターネットでの情報提供や読書室におけるW i - F i 環境を今後も整えることで、読書をする中で分からない漢字や文字、用語を自分のスマートフォンですばやく調べることが可能になるよう進めていきます。さらに、旭川市中央図書館のほか、「旭川市史デジタルアーカイブ」や北海道立図書館の「北方資料デジタルライブラリー」もW i - F i 環境があることで安心して調べ学習に活用できるように努めていきます。

< 1-2-1 保護者の育ちを支援する学習機会の充実 >

- 社会教育課では、保護者が多く集まる機会に、SNSの安全な利用や基本的な生活習慣など家庭教育に関する情報提供を行うほか、学校等の要望に応じて、講座等を行っていきます。
- 公民館では、子育てサロンや親子参加型事業等の保護者が多く集まる機会に、家庭教育や子育てに役立つ情報を提供していきます。また、父親が参加しやすくなるよう、平日だけでなく土・日曜日開催の事業も引き続き実施していきます。

< 1-2-2 保護者を孤立させない支援体制の充実 >

- 社会教育課では、2回実施した「学びカフェ」を、さらに多くの催しで実施できるよう、民間の事業を活用することも含め、開催機会の拡充を図ります。
- 公民館の子育てサロンや子育て広場については、毎回多くの子育て中の保護者等が参加し、支援者への相談や参加者同士の交流の場となっていることから、今後も継続して実施していきます。

【成果目標2】社会の変化や新たなニーズに対応した施設運営や本市の特性を生かした事業を展開するとともに、学習しやすい環境を整備します。

I 活動指標及び成果指標の状況

1 施設等の利用者及び事業参加者の意識について

(1) 活動指標（行政の取組に対する評価）

活動指標 1		目標値(R6)	実績値(R6)	達成状況	R5実績値との比較
社会教育施設（社会教育部所管）の利用率又は利用者数	彫刻美術館	4,996人	4,289人	未達成	◇
	彫刻美術館（ステーションギャラリー）*1	10,968人	9,189人	未達成	◆
	文化会館	68.2%	57.4%	未達成	◇
	クリスタルホール	67.9%	64.8%	未達成	◇
	公民館事業課	719,676人	457,980人	未達成	◇
	中央図書館*2	500,000人	356,028人	未達成	◆
	科学館	280,000人	247,574人	未達成	◇
	博物館	25,000人	32,066人	達成	—

彫刻美術館
・来場者数
3,987人(R5:調査開始) → 4,289人(R6)

彫刻美術館（ステーションギャラリー）
ステーションギャラリー（旭川駅構内）の入館者数(人)

文化会館
ホールの利用率(年間)(%)

クリスタルホール
国際会議場及び音楽堂の利用率(%)

公民館事業課
公民館の利用者数(人)

中央図書館
図書館の貸出利用者数(人)

科学館
科学館の年間入館者数(人)

博物館
博物館の年間入館者数(人)

*1 計画策定時、彫刻美術館は休館していたため、ステーションギャラリーの入館者数を指標とした。

*2 中央図書館は貸出利用者数。

活動指標 2			目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
社会教育施設を利用しやすいと感じる利用者の割合	文化会館		78.7%	85.2%	達成	—
	クリスタルホール		95.0%	95.1%	達成	—
	公民館事業課		67.6%	68.4%	達成	—
	中央図書館		90.0%	95.4%	達成	—
	科学館		100%	98.2%	未達成	↘
文化会館		クリスタルホール				
・利用者アンケート調査 75.0%(R5:調査開始) → 85.2%(R6)		・利用者アンケート調査 94.8%(R5:調査開始) → 95.1%(R6)				
公民館事業課		中央図書館				
		・利用者アンケート調査 91.0%(R5:調査開始) → 95.4%(R6)				
		科学館				
		・利用者アンケート調査 98.0%(R5:調査開始) → 98.2%(R6)				
活動指標 3			目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
社会教育施設が社会の変化や新たなニーズに応じた施設運営を行っていると感じる利用者の割合	彫刻美術館		—	調査未実施	—	—
	文化会館		63.9%	66.3%	達成	—
	クリスタルホール		80.7%	83.7%	達成	—
	公民館事業課		94.0%	95.0%	達成	—
	中央図書館		90.0%	84.5%	未達成	↘
	科学館		100.0%	92.0%	未達成	↘
彫刻美術館 ※R5・R6 調査未実施		文化会館				
・利用者アンケート調査		・利用者アンケート調査 60.9%(R5:調査開始) → 66.3%(R6)				
クリスタルホール		公民館事業課				
・利用者アンケート調査 78.7%(R5:調査開始) → 83.7%(R6)		・利用者アンケート調査 93.5%(R5:調査開始) → 95.0%(R6)				
中央図書館		科学館				
・利用者アンケート調査 88.0%(R5:調査開始) → 84.5%(R6)		・利用者アンケート調査 93.1%(R5:調査開始) → 92.0%(R6)				
活動指標 4			目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
地域の特色を生かした事業への参加者数	公民館事業課		344人	1,617人	達成	—
	中央図書館		1,731人	936人	未達成	↘
公民館事業課		中央図書館				

活動指標 5		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
高等教育機関等との連携による事業実施回数	社会教育課	6回	8回	達成	-
	公民館事業課	101回	85回	未達成	↘
	中央図書館	3回	2回	未達成	↘
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>社会教育課</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>公民館事業課</p> </div> </div>					
中央図書館					
活動指標 6		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
社会教育施設が様々な機関や団体と連携した学習機会を提供していると感じる利用者の割合	社会教育課	-	調査未実施	-	-
	公民館事業課	100.0%	91.7%	未達成	↘
	中央図書館	90.0%	95.6%	達成	-
社会教育課 ※R5・R6 調査未実施 ・参加者アンケート調査 (旭川ウェルビーイング・コンソーシアム事業)		公民館事業課 ・利用者アンケート調査 100.0%(R5:調査開始) → 91.7%(R6)			
中央図書館		・利用者アンケート調査 91.0%(R5:調査開始) → 95.6%(R6)			
活動指標 7		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
社会教育施設が学習しやすい環境となっていると感じる利用者の割合	文化会館	59.1%	62.6%	達成	-
	クリスタルホール	77.1%	80.3%	達成	-
	公民館事業課	100.0%	93.1%	未達成	↘
	科学館	100.0%	96.0%	未達成	↘
文化会館		クリスタルホール			
・利用者アンケート調査 56.3%(R5:調査開始) → 62.6%(R6)		・利用者アンケート調査 75.1%(R5:調査開始) → 80.3%(R6)			
公民館事業課		科学館			
・利用者アンケート調査 100.0%(R5:調査開始) → 93.1%(R6)		・利用者アンケート調査 96.6%(R5:調査開始) → 96.0%(R6)			

2 市民の意識について

(1) 活動指標 (行政の取組に対する評価)

活動指標 8		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
社会教育施設を利用しやすいと感じる市民の割合	市政モニター	61.0%	64.9%	↘
	・市政モニターアンケート調査 61.0%(R5:調査開始) → 64.9%(R6)			

活動指標 9		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
社会教育施設が社会の変化や新たなニーズに応じた施設運営を行っていると感じる市民の割合	市政モニター	39.0%	35.9%	↘
・市政モニターアンケート調査 39.0% (R5: 調査開始) → 35.9% (R6)				
活動指標 10		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
社会教育施設が様々な機関や団体と連携していると感じる市民の割合	市政モニター	28.3%	33.6%	↗
・市政モニターアンケート調査 28.3% (R5: 調査開始) → 33.6% (R6)				
活動指標 11		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
社会教育施設が学習しやすい環境となっていると感じる市民の割合	市政モニター	35.2%	39.7%	↗
・市政モニターアンケート調査 35.2% (R5: 調査開始) → 39.7% (R6)				
活動指標 12		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R5実績値との比較
生涯を通じた学びの振興に満足している市民の割合	市民アンケート	15.2%	-	-

II 取組の状況

【基本施策 2-1 施設運営や学習機会に工夫を凝らした学習しやすい環境の整備】

主な取組 2-1-1 社会の変化や市民の学習ニーズに応じた学習環境の整備

- 1 社会の変化や市民の学習ニーズを反映した社会教育施設の運営
 - ・彫刻美術館とステーションギャラリーの2館における常設展示や旭川ゆかりの作家などの企画展を通して、「彫刻のまち旭川」の魅力を発信するとともに、彫刻に接する機会や美術について学ぶ機会を提供しました。
 - ・ステーションギャラリーでは、彫刻以外のジャンルの展示も含め、文化芸術の発信拠点として広く活用を図りました。
 - ・文化会館及び公会堂では、施設運営に係る業務を民間に委託し、保守点検や施設の維持管理を行いました。また、自主文化事業を通して、文化芸術を鑑賞する機会を提供しました。
 - ・クリスタルホールでは、X、Facebookのアカウントを作成し、情報発信の強化に努めました。
 - ・公民館では、事業参加者・施設利用者へのアンケートや地域住民等と公民館の運営について協議する公民館フォーラムを通して、地域のニーズを把握しながら、適宜、施設・設備の修繕を実施するなど、施設の適切な管理運営に努めました。利用者アンケートでは、「施設・貸出物品が快適に使えると思うか」について、肯定的な回答が68.4%となっています。
 - ・図書館の運営に関するアンケート調査では、95%以上が「利用しやすいと感じる」と回答しましたが、「社会の変化や新たなニーズに対応」の面では目標を下回って約85%となったことから、これまで続いてきた図書館の在り方と新たなニーズに対し、バランスを保ちながら運営していきます。
 - ・科学館では、「楽しみながら学べる場所」「スタッフが親切」「プラネタリウムが素晴らしい」など、施設利用や学習環境に対し、90%を超える来館者から高評価を得ています。
 - ・博物館では、常設展示に加え「ヒグマと人との関わり」や「川とともに暮らしてきた旭川の人たちの歩み」をテーマとした企画展のほか、体験学習、アイヌ文化を紹介するイベント等を実施し、入館者数は32,066人で、前年度より約19.8%増加しました。来館者やイベント参

加者へのアンケート調査では、85.2%が満足したと回答していることから、学習ニーズや興味・関心に一定程度応えることができたほか、海外からの観光客の増加等を踏まえ、展示内容の英語解説文を閲覧できる二次元コードを掲示しました。

2 誰もが利用しやすい社会教育施設の整備

- ・ 文化会館では、大ホール舞台設備の改修を行ったほか、防災安全上から、非常照明用直流蓄電池を取り替えました。
- ・ 利用者アンケートによると、クリスタルホールが学習しやすい環境だと感じる割合は約80%で、前年度から約5ポイント上昇していることから、引き続き、誰もが利用しやすい施設の整備に向けて取り組んでいきます。

3 社会教育施設の拠点機能の充実

- ・ 文化振興課が所管する旭川文学資料館では、運営委託しているNPO法人により旭川ゆかりの文学資料の収集・保存と、市民等に向けた企画展の開催が年間を通して進められることで学習環境の充実が図られ、来館者数は昨年度より約17.5%増加の1,668人となりました。

主な取組 2-1-2 関係機関等との多様な連携による学習機会の提供

1 高等教育機関等との連携による高度な学習機会の提供

- ・ 社会教育課では、市内の高等教育機関の連携機関である旭川ウェルビーイング・コンソーシアムとの共催で「あさひかわオープンカレッジ」を実施し、事業後のアンケート調査では、「興味深い話が聞けて良かった」「今後も機会があれば受講したい」などの回答が複数あり、学習機会の提供及び充実に図りました。
- ・ 公民館では、市内の大学・高専・専門学校の協力の下、各高等教育機関が持つ高い専門性を生かした医療や健康等に関する講座を実施し、事業後アンケートでは、「様々な機関や団体と連携した学習機会を提供していると思うか」について、肯定的な回答が91.7%であり、高等教育機関等との連携による高度な学習機会を提供することができました。
- ・ 図書館では、農業の専門家による講座やJICA^{*1}のパネル展、旭川医科大学と連携したガンの冊子の設置など、専門的な知識を高める学習機会の提供を行いました。また、各講座の会場には、関連する書籍を置き、学びの継続につながるよう取り組みました。

2 社会教育関係団体等との連携による特性を生かした学習機会の提供

- ・ 社会教育課では、「あさひかわ学びの応援講座」を発行し、市内の社会教育団体と連携して子育てや自然環境、新たな趣味など、30の講座や講師情報を幅広く紹介することを通して、学習機会の提供に努めました。
- ・ 公民館では、社会福祉協議会や地域団体等と共催・連携し、ボランティア養成やニュースポーツ体験などの事業を実施し、事業後アンケートでは「様々な機関や団体と連携した学習機会を提供していると思うか」について、肯定的な回答が91.7%であり、各団体が持つ幅広い分野のノウハウを生かした学習機会を提供することができました。
- ・ 中央図書館では、ボランティアのスキルアップを図る研修として、外部講師の招へいのほか、希望に合わせ資料の提供や研修会への協力を行いました。

3 市長部局との積極的な連携による学習機会の提供

- ・ 社会教育課では、市の各部局と連携し、市職員や関係団体の職員等を講師として派遣する62の出前講座の情報を「あさひかわ学びの応援講座」としてホームページで公開しているほか、情報をまとめた冊子を市有施設に設置し、多様な学習機会の情報提供を行いました。
- ・ 公民館では、市の各部局の出前講座等を活用し、市の施策や健康、環境等の講座を実施し、事業後アンケートでは「様々な機関や団体と連携した学習機会を提供していると思うか」について、

*1 JICA：独立行政法人国際協力機構（Japan International Cooperation Agency）

肯定的な回答が91.7%であり、市長部局と連携のもと多様な学習機会を提供することができました。

Ⅲ 課題と改善に向けた今後の方向性

市民の主体的な学びを支援するため、高等教育機関等の専門的知見を生かした取組を充実させるとともに、社会の変化や市民の新たなニーズに対応した社会教育施設の運営に努めます。

〈基本目標2 市民の学びを支える環境の整備〉

社会教育施設について、使いやすいと回答した利用者は、調査を行ったいずれの施設においても85%を超えており、市政モニター調査の結果でも、前年度より増加して約65%となっています。

また、学習しやすい環境と感じている利用者は、調査を行ったいずれの施設においても62%を超え、市政モニター調査においても約40%と昨年度より増加しました。これらの結果から、社会教育施設が利用しやすく、学習しやすい環境になってきていると考えています。

一方で、社会教育施設が社会の変化や新たなニーズに応じた施設運営を行っているかについて、行っていると回答した利用者は、調査を行ったいずれの施設においても66%以上ですが、市政モニターのアンケート調査においては、約36%と前年度より減少しています。

今後の施設運営では、社会の変化や新たなニーズに対応していくとともに、様々な機関や団体と連携し、本市の特性を生かした事業を企画・展開し、学習の場としてより多くの市民に活用してもらえるよう取り組んでいきます。

＜2-1-1 社会の変化や市民の学習ニーズに応じた学習環境の整備＞

○ 文化振興課では、引き続き旭川文学資料館の運営を委託しているNPO法人と連携しながら旭川ゆかりの文学資料を収集し、市民の学習機会の充実に努めます。

○ 彫刻美術館ステーションギャラリーの観覧者数は微減しましたが、彫刻美術館の観覧者数は増えており、2館合計の観覧者数は前年度より増加しています。

今後は、より一層、市民に彫刻や美術に興味を持ってもらえるよう、彫刻美術館が収蔵する中原悌二郎と周辺の近代彫刻家の作品、中原悌二郎賞受賞作家の作品、旭川と北海道ゆかりの彫刻家の作品等を積極的に活用しながら、学習環境の整備に努めていきます。

また、学芸員資格取得を希望する実習生の受け入れ、他の美術館の学芸員や公的研究機関、各種学会の研究者との共同研究事業など、人材育成や人的ネットワークづくりを進め、「彫刻のまち旭川」として美術の振興、美術教育を推進していきます。

○ 文化会館では、築50年が経過していることから、建替整備の基本構想を策定し、現在は基本計画の策定に向けた検討を進めています。建物や設備の老朽化が進んでいますが、現施設の大規模な施設改修の実施は困難であることから、建物や設備の保守管理等を適切に行うとともに、施設利用に支障が生じないよう必要な補修等に努めていきます。

○ 公会堂では、施設が老朽化していることから、建物や設備の保守管理等を適切に行うとともに、施設利用に支障が生じないよう必要な補修等に努めますが、文化会館の建て替えに合わせて今後の在り方について検討していく必要があると考えています。

○ クリスタルホールでは、市ホームページや広報誌への掲載、チラシの配付に加え、SNSやデジタルサイネージの活用など、効果的な周知方法を検討し更なる発信強化に努めます。

また、利用者が学習しやすい環境と感じられるよう、建物や設備等の状況を注視し、引き続き必要な補修等に努め、環境の整備に取り組んでいきます。

○ 公民館では、引き続き、公民館フォーラムやアンケート調査等で住民の学習ニーズを把握し、その時々に合わせて学習環境を整備できるよう取り組みます。また、老朽化が進んでいる施設も多いことから、計画的な補修等に努めていきます。

○ 中央図書館では、利用しやすいと感じている利用者が前年度より増加していることから、引き続き、地区館を含めて計画的な補修等に努め、利用しやすい施設運営に取り組みます。

また、社会の変化や新たなニーズへの対応については、15%の利用者が対応していると感じていないため、今後の新たな環境整備として、アプリによる予約システムの構築、貸出しや電子

書籍などインターネットによる情報提供、Wi-Fiの導入による学習環境の整備を進めるほか、支援が必要な方へのサービスが充実するよう努めます。

- 科学館では、多くの利用者から社会の変化や市民の学習ニーズに対応した運営を期待されていることから、今後も最新の知見や情報をいち早く採り入れた展示や事業、イベントを実施するとともに、市ホームページの改善やSNSの活用を進め、情報発信の強化に取り組むことで施設の利用度を高めていきます。
- 博物館では、話題性や時宜を得た企画展やイベントを開催することで、市民の学習ニーズや興味・関心に応えるとともに、アンケート等により来館者やイベント参加者のニーズを把握し、展示やイベント内容に反映していくよう努めます。

<2-1-2 関係機関等との多様な連携による学習機会の提供>

- 社会教育課が所管する「あさひかわオープンカレッジ連携講座」については、事業後のアンケートで、参加者のほとんどが50歳代以上となっているため、10～40歳代も参加しやすい実施場所や広報、申込方法等について検討していきます。
- 「あさひかわ学びの応援講座」では、民間や市長部局と連携し、掲載する講座が増えるように努めるほか、市民に積極的に活用してもらえるよう周知していきます。
- 公民館では、高等教育機関や社会教育関係団体等と連携し、各機関等が持つ高い専門性や幅広い分野でのノウハウを生かした多様な講座を今後も継続して実施していきます。
- 中央図書館では、旭川医科大学図書館との連携事業や、北海道教育大学旭川校の協力による展示事業、旭川市立大学図書館との相互貸借による資料展示など、高等教育機関と積極的に連携した学習機会の提供に努めます。また、北海道立文学館や大学等の無償プログラムを利用するなど、様々な関係機関の情報を収集しながら市民やボランティアの学習内容を充実させていきます。
さらに、庁内各関係部局と協力し、地域振興部と図書館バスの連携、福祉保険部と自立サポート、認知症カフェに関する連携、健康保健部と共に健康意識の醸成に取り組んでいきます。

【成果目標3】市民が、学びの成果を地域づくりに生かしたり、学校、家庭、地域が連携・協働し、つながりを深めながら学び合えたりすることができるよう、地域の人材を活用し、学習成果を還元する取組を充実させます。

I 活動指標及び成果指標の状況

1 施設等の利用者及び事業参加者について

(1) 活動指標（行政の取組に対する評価）

活動指標 1		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
シニア世代の知識や経験を伝える世代間交流の実施回数	公民館事業課	28回	35回	達成	—
<p>公民館事業課</p> <p>高齢者が参加する世代間交流事業の実施回数(回)</p>					
活動指標 2		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
ボランティアと連携して実施する事業の回数*1	社会教育課	43回	58回	達成	—
	文化振興課	—	調査未実施	—	—
	クリスタルホール	5回	13回	達成	—
	公民館事業課	434回	513回	達成	—
	中央図書館	1,677人	1,261人	未達成	↖
	科学館*2	—	39回	—	—
	博物館	5回	3回	未達成	↘
<p>社会教育課</p> <p>・地域学校協働活動で 地域住民がサポーターとなった事業の回数 39回(R5:調査開始) → 58回(R6)</p> <p>クリスタルホール</p> <p>・コンサートボランティア活動回数 5回(R5:調査開始) → 13回(R6)</p> <p>公民館事業課</p> <p>ボランティア等との連携で実施する事業回数(回)</p> <p>中央図書館</p> <p>子ども読書推進ボランティアの行事参加者数(人)</p> <p>科学館*2</p> <p>・サイエンスボランティア旭川自主事業開催回数 36回(R5:調査開始) → 39回(R6)</p> <p>博物館</p> <p>退職校長会ボランティアとの連携で実施する事業回数(回)</p> <p>文化振興課 ※R5、R6 調査未実施</p> <p>・井上靖記念館における 「井上靖ナナカマドの会」の研修会開催数</p>					

*1 中央図書館は、ボランティアの行事参加者数。

*2 独立運営している任意団体の活動実績による値であることから目標値は設定しない。

活動指標 3			目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
生涯学習団体やボランティア団体等への登録者数	社会教育課		38 団体	30 団体	未達成	➡
	彫刻美術館		161 人	116 人	未達成	➡
	科学館*1		—	86 人	—	—
社会教育課 ・あさひかわ学びの応援講座の登録団体数*2 37 団体 (R5 : 調査開始) → 30 団体 (R6)		彫刻美術館 ・彫刻サポート隊及びボランティアの会「みゆうず」の会員数 131 人 (R5 : 調査開始) → 116 人 (R6)				
科学館 ・サイエンスボランティア旭川登録者数 98 人 (R5 : 調査開始) → 86 人 (R6)						
活動指標 4			目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
学習した成果を生かす場や機会が充実していると感じる参加者の割合	社会教育課		90.0%	88.3%	未達成	➡
	クリスタルホール		72.0%	81.8%	達成	—
	公民館事業課		87.0%	93.0%	達成	—
	中央図書館		90.0%	97.7%	達成	—
	科学館		100.0%	86.0%	未達成	➡
社会教育課 ・アンケート調査 (旭川生涯学習フェア「まなびピアあさひかわ」企画者) 90.0% (R5 : 調査開始) → 81.8% (R6)		クリスタルホール ・アンケート調査 (コンサートボランティア) 70.0% (R5 : 調査開始) → 81.8%				
公民館事業課 ・アンケート調査 (公民館利用者) 86.4% (R5 : 調査開始) → 93.0% (R6)		中央図書館 ・アンケート調査 (ボランティア) 94.0% (R5 : 調査開始) → 97.7% (R6)				
科学館 ・アンケート調査 (サイエンスボランティア旭川会員) 90.6% (R5 : 調査開始) → 86.0% (R6)						
活動指標 5			目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
地域の人材を生かした事業の回数	社会教育課		9 回	8 回	未達成	↔
社会教育課 ・ジオパーク構想推進事業における地域人材を活用した事業の回数 5 回 (R5 : 調査開始) → 8 回 (R6)						
活動指標 6			目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
地域の人材を活用した事業を行っていると感じた参加者の割合	社会教育課		—	調査未実施	—	—
社会教育課 ※ R5・R6 調査未実施 ・アンケート調査 (地域の人材を活用したジオパーク構想推進事業参加者)						

*1 独立運営している任意団体の活動実績による値であることから目標値は設定しない。

*2 登録している民間講師及び団体の数を団体数として算出。

活動指標 7		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
学校、地域、家庭と連携して実施した事業の参加者数	社会教育課	1,600回	102回	未達成	↘
	公民館事業課	21,638人	7,068人	未達成	↘
社会教育課*1 		公民館事業課 			
活動指標 8		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
学校、家庭、地域が連携・協働し、つながりを深めながら学び合える環境を整備していると感じる参加者の割合	社会教育課	78.0%	76.2%	未達成	↘
	公民館事業課	81.0%	89.6%	達成	—
社会教育課 ・アンケート調査（地域学校協働活動に係わった団体） 85.7% (R5：調査開始) → 76.2% (R6)		公民館事業課 ※ R5 調査未実施 ・利用者アンケート調査			

(2) 成果指標（施設等の利用者及び事業参加者の意識や行動）

成果指標 1		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
事業への参加を通じて新たな人とのつながりができた人の割合	社会教育課	81.0%	78.6%	未達成	↘
	公民館事業課	73.7%	45.9%	未達成	↘
	科学館*2	—	93.0%	—	—
	全体	77.4%	83.4%	達成	—
社会教育課 ・参加者アンケート調査（各種事業） 80.0% (R5：調査開始) → 78.6% (R6)		公民館事業課 			
科学館 ・アンケート調査（サイエンスボランティア旭川） 75.0% (R5：調査開始) → 93.0% (R6)		全体 ・アンケート調査（ボランティア） 68.5% (R5：調査開始) → 83.4% (R6)			

*1 社会教育課は活動回数。R2～R4は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から利用中止。

*2 独立運営している任意団体の活動実績による値であることから目標値は設定しない。

成果指標 2		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
学んだことを地域や他の人のために生かそう としている参加者の割合	社会教育課	86.0%	84.4%	未達成	➡
	文化振興課	—	調査未実施	—	—
	彫刻美術館	—	調査未実施	—	—
	クリスタルホール	52.0%	81.8%	達成	—
	公民館事業課	67.0%	82.5%	達成	—
	中央図書館	90.0%	100.0%	達成	—
	科学館 ^{*1}	—	82.0%	—	—
	全 体	73.8%	78.3%	達成	—
社会教育課		クリスタルホール			
・参加者アンケート調査（各種事業等） 86.0% (R5：調査開始) → 84.4% (R6)		・アンケート調査（コンサートボランティア） 50% (R5：調査開始) → 81.8% (R6)			
公民館事業課		中央図書館			
・利用者アンケート調査 66.7% (R5：調査開始) → 82.5% (R6)		・アンケート調査（図書館ボランティア） 100% (R5：調査開始) → 100.0% (R6)			
科学館		全 体			
・アンケート調査（サイエンスボランティア） 84.3% (R5：調査開始) → 82.0% (R6)		・アンケート調査 77.4% (R5：調査開始) → 78.3% (R6)			
文化振興課 ※R5、R6 調査未実施		・アンケート調査（補助金交付団体への聞き取り又は書面提出による確認及び井上靖記念館における「井上靖ナナカマドの会」会員）			
彫刻美術館 ※R5、R6 調査未実施		・参加者アンケート調査			

2 市民の意識について

(1) 活動指標（行政の取組に対する評価）

活動指標 9		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
学習した成果を生かす場や機会が充実していると感じる市民の割合	市政モニター	15.1%	19.1%	↗
・市政モニターアンケート調査 15.1% (R5：調査開始) → 19.1% (R6)				
活動指標 10		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
地域の人材を活用した事業を行っていると感じる市民の割合	市政モニター	21.4%	26.0%	↗
・市政モニターアンケート調査 21.4% (R5：調査開始) → 26.0% (R6)				
活動指標 11		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
学校、家庭、地域が連携・協働し、つながりを深めながら学び合える環境を整備していると感じる市民の割合	市政モニター	22.6%	22.1%	➡
・市政モニターアンケート調査 22.6% (R5：調査開始) → 22.1% (R6)				
活動指標 12		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R5実績値との比較
生涯を通じた学びの振興に満足している市民の割合	市民アンケート	15.2%	—	—

*1 独立運営している任意団体の活動実績による値であることから目標値は設定しない。

(2) 成果指標（市民の意識や行動）

成果指標 3		実績値 (R6)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
学習活動を通じて身に付けた知識・技術や経験を地域や他の人のために生かしている市民の割合	市政モニター	37.1%	35.9%	▲
・市政モニターアンケート調査 37.1% (R5 : 調査開始) → 35.9% (R6)				
成果指標 4		実績値 (R6)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
ボランティア活動に今後参加したいと思っている市民の割合	市政モニター	74.2%	72.5%	▲
・市政モニターアンケート調査 74.2% (R5 : 調査開始) → 72.5% (R6)				
成果指標 5		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R5実績値との比較
地域のイベントや行事、活動に主催者や企画する側で参加した市民の割合	市民アンケート	8.8%	—	—

II 取組の状況

【基本施策 3 - 1 地域における教育力の向上】

主な取組 3 - 1 - 1 市民が主体となって学習成果を還元できる環境の整備

1 市民の知識・技術を生かした活動の場の提供

- ・ 社会教育課が進める地域学校協働活動では、地域住民が講師やサポーターとして関わった事業が54事業と前年度と比較して38%増加し、市民の知識や技術を生かした活動の場を多く提供しました。
「まなびネットあさひかわ」では、公民館の百寿大学の紹介、民間団体や生涯学習活動団体が開催する様々な講座や催しに関する情報を提供しました。また、講座等の募集から実施後の活動内容までを紹介することで、新規の参加者やリピーターの獲得につながりました。
生涯学習フェアでは、令和6年度から実行委員会形式で取り組んでおり、20団体24人が実行委員として企画や運営を行いました。事業後アンケートでは、生涯学習フェアが、「学習成果を生かす機会になった」と回答した方は約88%で前年度と比較し微減していますが、「この経験を生かし、今後も地域の行事等に関わりたい」と回答した方は約77%と前年度から増加しました。この結果から、地域の担い手としての意識付けを図ることに寄与したと考えています。
- ・ 文化振興課が所管する井上靖記念館は、市民によって組織されたNPO法人を指定管理者としており、複数の企画展の開催により前年度比2.4%増の入館者を数えたことから、市民の知識や見識がより良い施設運営に生かされました。
- ・ 彫刻美術館では、市民ボランティアである「旭川彫刻サポート隊」の会員を対象に、彫刻に対する理解を深め活動に役立ててもらうための研修会の開催や、野外彫刻の清掃ボランティアを行う市内中学校やシニア大学の清掃活動に対して支援を行いました。
- ・ 公民館では、社会福祉協議会やボランティア活動実践者を講師にボランティアに関わる講座を実施し、事業後アンケートでは「学んだことを生かす場や機会が充実していると感じるか」について、肯定的な回答が93.0%であり、これまでの経験を生かして活躍できる場の創出に努めることができました。
- ・ 図書館では、読み聞かせなどのボランティアが活動しており、ボランティアへのアンケートでは、「学習の成果を図書館で生かすことができている」「新しい人とのつながりができた」と答えた方は90%を超え、「学んだことを今後の活動で生かしていきたい」と答えた方は100%

と

なるなど、図書館活動にやりがいや生きがいを持って取り組めるよう支援しました。

- ・ 科学館では、開館以来、科学のおもしろさや学ぶ楽しさを子どもたちに伝えたいという市民による団体「サイエンスボランティア旭川」と協働して科学の普及活動を行っており、一年を通して科学館事業のサポートや自主事業の実施など、様々な場面で活動の場と機会を提供しています。会員からは、「やりがいを感じている」「来館者や参加者との交流を楽しんでいる」「活動の場があるのはありがたい」といった声が寄せられ、また、意見交換や情報提供を定期的に行ったことで良好な協働関係を継続しました。

2 学習成果を生かしたボランティア活動の促進

- ・ 社会教育課が進める地域学校協働活動推進事業では、研修会の開催を通して地域住民の理解促進が図られたことにより、新たにコーディネーターを担う人材を発掘することができました。
- ・ 文化振興課が所管する井上靖記念館では、ボランティアが講師を務める市民を対象とした週末朗読会や文化の日朗読会などを7回開催し延べ115人が参加するなど、ボランティア活動での学習成果を生かす取組を進めました。
- ・ 彫刻美術館では、市民ボランティアである彫刻サポート隊による定期的な清掃活動やワックスの塗布、修繕が必要な作品の報告などにより、野外彫刻を良好に維持管理することができました。
- ・ クリスタルホールでは、自主文化事業について、市民ボランティアのコンサートボランティアと連携して実施しました。
- ・ 公民館の百寿大学やシニア大学では、ごみ拾いや彫刻清掃、花壇整備等のボランティアに参加する機会を設け、延べ211人が参加しました。
- ・ 科学館では、「サイエンスボランティア旭川」が開催しているワークショップや「学生の科学展」等のイベントを支援することで、科学のおもしろさや学ぶ楽しさを伝えました。
- ・ 博物館では、退職校長会旭川支部の有志で構成されるボランティアと連携し、活動内容を共に検討しながら、博物館資料の整理などを行ったほか、「アイヌ文化に親しむ日」での体験コーナーや昔の冬のくらしを体験するワークショップを実施しました。

主な取組 3-1-2 地域社会を担う団体や人材の育成支援

1 社会教育関係団体の育成支援

- ・ 社会教育課では、各種補助金を活用した事業について、参加者の学びが深まる内容となるよう助言に努めました。また、コロナの影響により令和2年度から休止していた交流スクールについては、地域や学校の理解が得られたところから順次活動を再開しており、令和6年度に1校が再開したことで、合計3校が活動を再開しました。
- ・ 文化振興課では、文化芸術事業補助金を16団体に交付しました。新規は2団体と減少しましたが、総数は前年度と比較して増加しました。
- ・ 公民館では、公民館で活動する生涯学習活動団体に講座の講師を依頼するなど、各団体が学んだ成果を生かす機会を設け、事業後アンケートでは「地域の人材を活用していると感じるか」について、肯定的な回答が95.0%であり、団体の活動を支援することができました。

2 指導者の育成支援に向けた取組の充実

- ・ 社会教育課では、20歳を迎える若人の門出を祝うとともに、今後社会で力強く生きていくよう激励する「20歳を祝うつどい」を、対象者を中心とした実行委員会との共催で開催しています。令和6年度の「20歳を祝うつどい」においても、前年度の委員がオブザーバーとして参加し、10名の実行委員が円滑に活動できるよう支援しました。

ジオパーク構想推進事業では、大雪山の成り立ちを学ぶ講座において大学生が、ジオ・フェスティバルにおいては高校生や大学生が出展者として活躍できる機会を提供しました。また、その他の事業についても複数の団体と連携して実施し、地域の人材の育成支援に取り組みました。

- ・ 公民館のシニア大学では、学生が地域課題について研究した成果を、百寿大学の学生に対して

発表する機会を設け、学んだ成果を生かすことができる場を提供しました。

【基本施策 3-2 学校、家庭、地域の連携・協働の推進】

主な取組 3-2-1 学校、家庭、地域の連携・協働によるつながり、学び合える環境の整備

1 多様な体験活動の提供

- ・ 社会教育課では、地域学校協働活動推進事業のモデル地域において実施したアンケート調査において、約 83%の方が「子どもたちの活動内容が充実した」と回答しているなど、地域と学校が連携して、多様な体験活動を創出する機会を提供することができました。
- ・ 公民館では、中学生が保育園で幼児と交流する機会を設けたり、公民館利用団体が講師となって工作や囲碁、演劇等、様々な知識や経験を身につけたりするための講座を実施しています。事業後アンケートでは「学校、家庭、地域が連携し、つながりを深めながら学び合える環境を整備していると思うか」について、肯定的な回答が 89.6%であり、子どもと地域をつなぐ体験活動の場を提供することができました。

2 多様な世代との交流によるつながりを深め、学び合える場の提供

- ・ 社会教育課では、地域学校協働活動推進事業のモデル地域において実施したアンケート調査において、約 84%の方が「新たなつながりができた」と回答しているなど、つながりを深めるきっかけに寄与する取組を進めました。
- ・ 公民館の百寿大学では、学生が昔遊びを教える講師として小学校の授業に参加し、地域の子ども達と交流する世代間交流事業の取組を進めています。事業後アンケートでは「学校、家庭、地域が連携し、つながりを深めながら学び合える環境を整備していると思うか」について、肯定的な回答が 89.6%であり、世代間交流により学び合える機会を提供することができました。

3 地域学校協働活動の推進

- ・ 社会教育課では、地域学校協働活動推進事業のモデル地域において実施したアンケート調査において、約 92%の方が「学校と地域のつながりが深まった」と回答しているなど、地域と学校の連携と協働を推進しました。

Ⅲ 課題と改善に向けた今後の方向性

地域社会の人間関係の希薄化や人々の孤立化が指摘されている中で、地域課題の解決や地域の活性化などを促進するため、知識や技術を持つ地域の人材を活用し、学習成果を地域に還元するための環境づくりや、家庭・地域・学校の連携・協働の促進を図ります。

《基本目標 3 地域における学びの循環》

事業後に参加者に行ったアンケートでは、「事業への参加を通じて新たな人とのつながりができた人の割合」が約 83%、「学んだことや地域の人のために生かそうとしている参加者の割合」が約 78%であり、いずれも昨年度より増加していることから、参加者に取組が評価されており、地域や人とのつながりを深め、学習成果を還元する学びの提供ができたと考えます。

一方、市政モニターアンケートでは、「学校、家庭、地域が連携し、つながりを深めながら学び合える環境を整備していると感じる市民の割合」は約 22%、「学習活動を通じて身に付けた知識・技術や経験を地域や他の人のために生かしている市民の割合」は約 36%と、いずれも前年度より減少しており、参加者と市民に差異が生じています。

市民の約 73%は、「ボランティア活動に今後参加したいと思っている」と答えている中、「学習した成果を生かす場や機会が充実していると感じる市民の割合」が約 19%、「地域の人材を活用した事業を行っていると感じる市民の割合」が約 26%という状況を踏まえ、引き続き、市民が身に付けた知識、技術や経験を気軽に生かすことができる機会を多く提供し、地域の担い手である

意識の醸成を図る取組を進める必要があります。

＜3-1-1 市民が主体となって学習成果を還元できる環境の整備＞

- 社会教育課で運用している「まなびネットあさひかわ」に登録している団体・登録している団体・サークル数や講師数は、ここ数年横ばいの状況が続いていますが、サイトのリニューアル後、アクセス数は増加傾向にあります。アクセス数の増加を団体・サークルや講師の登録数の増加につなげられるよう、登録について周知とともに、地域で活動している団体や人材を登録に結びつけられるよう、より一層サイトの充実と効率化を図ります。

生涯学習フェアについては、実行委員の担い手を増やすために、公民館や住民センターなど多くの生涯学習団体が活動する場所で実行委員の募集を周知します。

地域学校協働活動では、モデル地域の活動を推進するとともに、地域の協力を得ながら、地域人材や協力団体等のリスト化などの取組を進めていきます。
- 文化振興課が所管する井上靖記念館では、NPO法人による指定管理や、井上靖記念財団との事業協力により、市民等の知識や経験を生かした施設運営を行っており、今後も同様の取組を続けます。
- 彫刻美術館では、野外彫刻の清掃活動を行う市民ボランティアである彫刻サポート隊の彫刻に対する理解を深め、今後の活動に役立てられるよう、研修会を引き続き開催していきます。

また、彫刻サポート隊の加入者が前年度に比べて減少していることから、SNS等の活用による周知活動の充実に努めるとともに、加入者の活動に対するモチベーションを維持できるように、主体的な取組や交流を促し、ボランティア活動に対する喜びややりがいを実感できるようなサポートを継続します。
- 公民館では、引き続きボランティアに関する講座の実施や百寿大学・シニア大学の中でボランティアに関する情報提供を行い、これまでの経験を生かして地域で活躍できる機会の創出に取り組みます。
- 図書館では、図書館で活動するボランティアに実施したアンケート結果において、ボランティア活動や学習意欲に関しては高い割合で好意的な回答となっていますが、ボランティアの高齢化と会員の減少が進んでおり、新たな担い手の獲得が課題となっています。仲間と一緒に学びながら活動し、意識の高揚を図ることが地域に貢献できるボランティアの魅力であることを周知することで、ボランティアの増加につながるよう努めていきます。
- 科学館では、「サイエンスボランティア旭川」会員の高齢化などを要因とする活動人数の減少が顕著になってきていることもあり、新たなボランティア活動希望者の掘り起こしが必要となっています。今後も活動機会を提供していきませんが、並行して「サイエンスボランティア旭川」に限らず、科学館での活動を希望するボランティア団体の発掘や受け入れも検討します。
- 博物館の業務は専門的な知識を必要とするものが多く、ボランティアの豊富な知識を役立てることができる一方、ボランティア活動での実施が難しい面もありますが、ボランティアとともに活動内容を検討し、その充実に努めます。

＜3-1-2 地域社会を担う団体や人材の育成支援＞

- 社会教育課では、各種補助金を活用した事業について、より多くの方が学びを深められる内容となるよう、きめ細やかな助言に努めます。

交流スクールについては、学校と地域がつながる場として積極的に利用される環境整備に向け、交流スクール運営委員会と連携しながら事業を進めます。

「20歳を祝うつどい」については、実行委員の担い手となる、大学生や様々な業種の社会人等の幅広い人材を確保し、開催に向けた活動を支援していきます。

ジオパーク構想推進事業では、ガイドや講師の養成講座等の実施を検討し、様々な団体等との連携の上、事業の拡充を図ります。
- 文化振興課では、補助金制度を様々な団体に活用してもらうため、SNS等を活用した情報発信を行い、幅広く制度が行き渡るように努めます。
- 公民館のシニア大学は、まちづくりを担う人材づくりを目的としていることから、卒業後アンケートなど追跡調査を行いながら、カリキュラムの充実を図っていくほか、必要に応じて見直

しを行います。

<3-2-1 学校、家庭、地域の連携・協働によるつながり、学び合える環境の整備>

- 社会教育課では、「学校・家庭・地域が連携し、つながりを深めながら学び合える環境を整備している」と回答した方が約80%という、地域学校協働活動のモデル地域のアンケート調査結果から、一定の成果が現れていると認識しています。

今後は、この成果をモデル地域以外に波及させていくことが重要と考えているため、研修や各種会議等を通して、地域の方の当事者意識を高め、コーディネーターとして関わってもらうなど主体的な活動につながるよう支援していきます。

また、交流スクールについては、各交流スクールの運営委員会が自主運営していますが、より地域と学校がつながる場所となるように支援していきます。

- 公民館では、関係団体や学校との連携を密にし、地域の各団体が連携して行う子ども達のための活動を引き続き支援していきます。

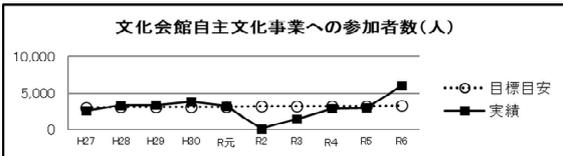
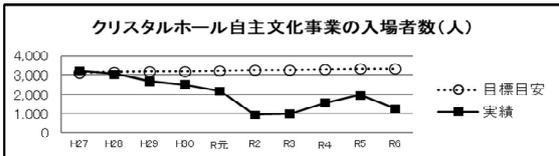
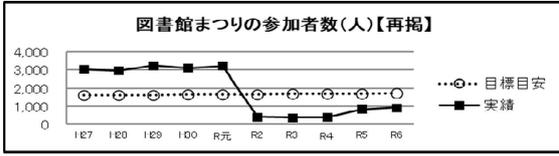
社会教育 基本目標 4 市民の心を豊かにする文化芸術活動の充実

【成果目標 4】市民が、日頃から文化芸術に触れ、心豊かな生活を送ることができるよう、気軽に文化芸術に触れられる取組を進めるとともに、団体等への支援や関連施設を更に活用することにより、文化芸術の振興を図ります。

I 活動指標及び成果指標の状況

1 施設等の利用者及び事業参加者について

(1) 活動指標（行政の取組に対する評価）

活動指標 1		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
文化芸術に関する事業の入場者数	文化振興課	20,627	18,824人	未達成	↘
	彫刻美術館*1	—	13人	—	—
	文化会館	3,231人	6,013人	達成	—
	クリスタルホール	3,331人	1,269人	未達成	↘
	公民館事業課	20,459人	21,663人	達成	—
	中央図書館	1,731人	936人	未達成	↘
文化振興課 ・入場者数(所管施設) 18,752人(R5:調査開始)→18,824人(R6)		彫刻美術館 ・参加者数(中原梯二郎賞及び旭川彫刻フェスタに係る講演会等) 91人(R5:調査開始)→13人(R6)			
文化会館 		クリスタルホール 			
公民館事業課 		中央図書館 			
活動指標 2		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
市民が気軽に文化芸術に触れられる取組を進めていると感じる利用者の割合	文化振興課	—	調査未実施	—	—
	彫刻美術館	—	調査未実施	—	—
	文化会館	74.5%	74.6%	達成	—
	クリスタルホール	88.3%	90.1%	達成	—
	公民館事業課	76.0%	93.5%	達成	—
	中央図書館	90.0%	97.7%	達成	—
文化会館 ・利用者アンケート調査(利用者) 71.0%(R5:調査開始)→74.6%(R6)		クリスタルホール ・利用者アンケート調査 86.3%(R5:調査開始)→90.1%(R6)			
公民館事業課 ・利用者アンケート調査 75.0%(R5:調査開始)→93.5%(R6)		中央図書館 ・利用者アンケート調査 99.0%(R5:調査開始)→97.7%(R6)			
文化振興課 ※R5・6 調査未実施 ・利用者アンケート調査(所管施設)		彫刻美術館 ※R5・6 調査未実施 ・アンケート調査(利用者及び事業参加者)			

*1 隔年又は各年度で事業内容が変わるため、各年度毎の目標値は設定しない。

活動指標 3		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
自主文化事業への参加者の満足度	文化会館	94.8%	97.0%	達成	—
	クリスタルホール	88.7%	93.3%	達成	—
文化会館 自主文化事業参加者へのアンケート調査の結果 (とても良かった・良かった) (%)		クリスタルホール 自主文化事業参加者へのアンケート調査の結果 (とても良かった) (%)			
活動指標 4		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
関連施設を更に活用する手立てを講じていると感じる利用者の割合	彫刻美術館	—	調査未実施	—	—
	公民館事業課	50.1%	96.8%	達成	—
彫刻美術館 ※R5・R6 調査未実施 ・利用者アンケート調査 公民館事業課 ※R5 調査未実施 ・利用者アンケート調査					
活動指標 5		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
文化芸術活動に係る補助金の新規交付団体数	文化振興課	4 団体	2 団体	未達成	➡
文化振興課 文化芸術活動に係る補助金の新規交付団体数 (団体)					
活動指標 6		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
文化芸術活動に係る成果発表の場を活用する団体数	文化振興課	47 団体	42 団体	未達成	➡
	クリスタルホール	7 団体	9 団体	達成	—
文化振興課 リハーサルホール及び旭川市民ギャラリーの年間利用者数 (人)		クリスタルホール 市民発表コンサート「ウィンターコンサート」の出演団体数 (団体)			
活動指標 7		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
文化芸術活動に関わる学びの機会の提供回数や参加者数	文化振興課	880 回	712 回	未達成	➡
	文化会館	611 人	587 人	未達成	➡
	公民館事業課	20,459 人	21,663 人	達成	—
文化振興課 ・リハーサルホール利用回数 803 回 (R5 : 調査開始) → 712 回 (R6)		公民館事業課 公民館まつり、木洩輪コンサートに参加者数及び木洩輪グランドピアノ開放利用者数 (人)			
文化会館 ・参加者数 (自主文化事業の参加者数) 582 人 (R5 : 調査開始) → 587 人 (R6)					

活動指標 8		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
文化芸術団体等への支援が充実していると感じる利用者の割合	文化振興課	—	調査未実施	—	—
	文化会館	65.1%	64.7%	未達成	↩
	クリスタルホール	82.4%	85.5%	達成	—
	公民館事業課	84.0%	93.2%	達成	—
文化会館 ・参加者アンケート調査（自主文化事業） 62.0% (R5: 調査開始) → 64.7% (R6)		クリスタルホール ・利用者アンケート調査 80.4% (R5: 調査開始) → 85.5% (R6)			
公民館事業課 ・アンケート調査（利用者） 83.3% (R5: 調査開始) → 93.2% (R6)					
文化振興課 ※R5・6 調査未実施					

(2) 成果指標（施設等の利用者及び事業参加者の意識や行動）

成果指標 1		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
日頃から文化や芸術に触れようとしている利用者の割合	文化振興課	50.1%	62.5%	達成	—
	文化会館	78.7%	84.2%	達成	—
	クリスタルホール	90.5%	87.7%	未達成	↘
	中央図書館	90.0%	99.1%	達成	—
	公民館事業課	81.0%	99.2%	達成	—
	全 体	78.1%	86.5%	達成	—
文化振興課 ・利用者アンケート調査（所管施設） 64.3% (R5: 調査開始) → 62.5% (R6)		文化会館 ・参加者アンケート調査（自主文化事業） 75.0% (R5: 調査開始) → 84.2% (R6)			
クリスタルホール ・アンケート調査（利用者） 88.5% (R5: 調査開始) → 87.7% (R6)		中央図書館 ・利用者アンケート調査 99.0% (R5: 調査開始) → 99.1% (R6)			
公民館事業課 ※R5 調査未実施 ・アンケート調査（利用者）		全 体 ・利用者アンケート調査 81.7% (R5: 調査開始) → 86.5% (R6)			

2 市民の意識について

(1) 活動指標（行政の取組に対する評価）

活動指標 9		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
市民が気軽に文化芸術に触れられる取組を進めていると感じる市民の割合	市政モニター	47.2%	52.7%	↗
	・市政モニターアンケート調査 47.2% (R5: 調査開始) → 52.7% (R6)			
活動指標 10		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R5実績値との比較
旭川市を文化・文化芸術活動が盛んなまちだと思う市民の割合	市民アンケート	27.1%	—	—
活動指標 11		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R5実績値との比較
文化芸術活動を鑑賞する機会が少ないと感じている市民の割合	市民アンケート	13.2%	—	—

活動指標 1 2		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R5実績値との比較
文化芸術活動についての情報が少ないと感じている市民の割合	市民アンケート	13.5%	—	—
活動指標 1 3		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
関連施設を更に活用する手立てを講じていると感じる市民の割合	市政モニター	32.1%	43.5%	◇
・ 市政モニターアンケート調査 32.1% (R5 : 調査開始) → 43.5% (R6)				
活動指標 1 4		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
文化芸術団体等への支援が充実していると感じる市民の割合	市政モニター	28.9%	29.8%	◇
・ 市政モニターアンケート調査 28.9% (R5 : 調査開始) → 29.8% (R6)				
活動指標 1 5		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R7実績値との比較
個性豊かな北国らしい文化の振興に満足している市民の割合	市民アンケート	19.8%	—	—

(2) 成果指標 (市民の意識や行動)

成果指標 2		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
日頃から、文化や芸術に触れている市民の割合	市政モニター	40.3%	48.9%	◇
・ 市政モニターアンケート調査 28.9% (R5 : 調査開始) → 29.8% (R6)				

II 取組の状況

【基本施策 4 - 1 文化芸術活動に関わりを持つ機会の充実と独自性ある取組の充実】

主な取組 4 - 1 - 1 文化芸術に親しむ機会の充実

1 文化芸術に接する機会の充実

- ・ 文化振興課が所管する井上靖記念館と、織田コレクション展示事業の来館者数は増加した一方、市民ギャラリーは利用件数・来場者数ともに減少し、特に冬期間の活用促進が課題となっていることが分かりました。
- ・ 彫刻美術館では、企画展や彫刻教室、彫刻散歩など、各種事業を通じて彫刻への理解を深め、美術全般への関心を高める機会を提供しました。彫刻フェスタでは、過去に彫刻フェスタ事業において公開制作された野外彫刻作品の維持・補修を行いました。
- ・ 文化会館では、市民に優れた文化芸術作品を鑑賞する機会を提供するため、きかんしゃトーマスファミリーミュージカルや札幌交響楽団旭川公演等を実施しました。
- ・ クリスタルホールでは、3つの鑑賞型公演事業を実施し、事業実施後のアンケートでは、回答者の93.3%が「とても良かった」と回答しており、満足度の高い公演を実施することができました。
- ・ 図書館が開催した図書館まつりでは、開館30周年記念として2日間にわたり、子ども向けイベントのほかビブリオバトル^{*1}など本と人をつなぐ取組を行い、普段図書館に来館しない市民が足を運ぶ機会となったほか、来場者アンケートでは99%がまた参加したいと回答しました。
- ・ 公民館では、館内ロビーで利用団体の絵画等を展示したり、神楽公民館の音楽ホール木楽輪でアマチュア演奏家等による「夢コンサート」を開催し、事業後アンケートでは「市民が気軽に文

*1 本を紹介し合うコミュニケーションゲーム

化芸術に触れられる取組を進めていると感じるか」について、肯定的な回答が93.5%であり、文化芸術に接する機会を提供できました。

2 文化芸術への関心を高める取組の充実

- ・ 文化振興課が所管する井上靖記念館では、青少年を対象としたエッセーコンクールを開催し、若年層の文学への関心を高める取組を行いました。
- ・ 彫刻美術館では、戦後の日本彫刻界を代表する作家であり、第1回中原悌二郎賞の受賞者である木内克の作品を展示した「木内克の造形世界」展を開催しました。彫刻美術館が収蔵する木内克の貴重な作品群を用いて、市民に彫刻や文化芸術への関心を高める機会を提供しました。
また、次年度以降の彫刻フェスタの事業内容について、実行委員会で検討しました。
- ・ 文化会館の自主文化事業では、子どもの文化芸術への関心を高めるため子ども向けのファミリーミュージカルを開催し、様々な市民に足を運んでもらうため市民人気の高いオーケストラ公演を実施しました。
- ・ クリスタルホールでは、来館者アンケートを参考に自主文化事業の選定を行い、独自で作成している情報誌や市民広報誌、ホームページのほか、新聞広告やラジオ、各種SNSにより周知し、文化芸術への関心を高めました。
- ・ 公民館では、百寿大学等の講座で音楽、陶芸、美術館の見学等を実施し、事業後アンケートでは「市民が気軽に文化芸術に触れられる取組を進めていると感じるか」について、肯定的な回答が93.5%であり、文化芸術への関心を高める機会を提供することができました。

3 関連施設の機能を生かした文化芸術活動の推進

- ・ 文化振興課で所管する旭川文学資料館の運営委託と井上靖記念館の指定管理については、同一のNPO法人に委ねており、資料や情報の共有化をはじめとした相互に関連した運営により、展示内容などの充実につながっています。
- ・ 彫刻美術館は、中原悌二郎の作品や中原悌二郎賞の受賞作品の常設展示、企画展を行う彫刻専門の美術館として、ステーションギャラリーは、彫刻のみならず、デザインなど幅広い分野の展示を気軽に鑑賞することができる観覧料無料のギャラリーとして、それぞれの特徴を生かしながら、文化芸術及び美術振興の発信拠点として活用を図りました。

主な取組 4-1-2 文化芸術活動への支援

1 文化芸術に関わる団体への支援や人材の育成

- ・ 文化振興課では、リハーサルホールと市民ギャラリーを運営し、市民に文化芸術活動の場を提供するとともに、文化芸術団体の活動状況取材して旭川市ホームページで紹介することで、団体の活動と参加者増を支援しました。
- ・ 文化会館では、高校生のための舞台技術講習会等を開催し実践的な演劇の技術等を学ぶ機会を提供したほか、39歳以下の作家を対象に様々なジャンルの作品を公募する展示会「ACAG*1」を開催し、37名、72点の作品を展示しました。
また、市民等が取り組む絵画や写真、書道などの発表機会として展示室を提供し、文化芸術に関わる団体の活動を支援しました。
- ・ クリスタルホールでは、市民との協働による「ウインターコンサート」や特別企画「あなたにエール♪」、冬休み音楽講座を開催し、市民の音楽芸術への関心を高めることができました。
- ・ 公民館では、館内ロビー等を生涯学習団体や地域の保育所・中学校美術部等の作品展示スペースとして提供し、事業後アンケートでは「文化芸術団体への支援は、充実していると感じるか」について、肯定的な回答が93.2%であり、文化芸術に関わる各団体の活動を支援することができました。

*1 ACAG : Asahikawa Culture Artistic Gathering の略

2 関係団体等と連携した文化芸術活動の推進

- ・ 公民館では、「公民館まつり」等のイベントを生涯学習活動団体と連携して企画・運営し、各地域の文化芸術活動を支援しました。

Ⅲ 課題と改善に向けた今後の方向性

旭川市は、彫刻のまち、文学のまち、音楽のまちと称されるなど、文化芸術活動が盛んなまちであり、様々な文化イベント等を行っています。

文化芸術は、人々の創造性を高め、感性を豊かにし、暮らしに潤いと安らぎをもたらすとともに、人々に感動と生きる力を与えるものです。関連施設の活用を図りながら、本市の特徴を生かした文化の振興を通じて、市民一人一人が主体的に文化芸術に接することができ、心豊かな生活を送ることができるよう、文化芸術活動の充実を図ります。

〈基本目標 4 市民の心を豊かにする文化芸術活動の充実〉

施設利用者や事業参加者のアンケートでは、「気軽に文化芸術に触れられる取組を進めていると感じる割合」や「日頃から文化や芸術に触れようとしている割合」、「文化芸術団体等への支援が充実していると感じる割合」について、目標値を達成しているものが多くあり、効果があると考えられます。

しかし、市政モニター調査では、「気軽に文化芸術に触れられる取組を進めていると感じる市民の割合」が約53%、「日頃から、文化や芸術に触れている市民の割合」は約49%、「文化芸術団体等への支援が充実していると感じる割合」は約30%と、いずれも昨年度より微増していますが、市民があまり実感していないという結果になりました。

今後は、市民が気軽に文化芸術に触れられるようなものから、深く学びたい方を対象としたものまで、様々な内容やアウトリーチ*1型の取組を引き続き検討するほか、文化芸術に触れられる事業や補助金、文化芸術活動に利用できる場の周知、活動団体の紹介など、文化芸術活動の更なる充実に取り組みます。

〈4-1-1 文化芸術に親しむ機会の充実〉

- 文化振興課では、来場者数が増加している文学資料館、井上靖記念館、織田コレクション展示について、引き続き情報発信の強化に努めながら文化芸術に親しむ機会の充実を目指していきます。

市民ギャラリーについては、複数の文化芸術団体のコラボレーション企画を実施するなど、利用機会が減少する冬期間の需要拡大を図っていきます。

- 彫刻美術館では、企画展や各種事業の実施により、市民が文化芸術に接する機会の充実を図っていますが、来館者数については、更に増やす余地があることから、旭川ゆかりの中原悌二郎の彫刻作品や日本の現代彫刻の流れを一目で見渡すことができる中原悌二郎賞受賞作品のコレクションなど、彫刻美術館が保有する収蔵作品を用いて、多くの市民に文化芸術に親しむ機会を提供するとともに、多様な世代にアプローチするため、マスメディアや広報誌、ホームページ、SNSなど各種媒体の積極的な活用を図ります。

また、魅力ある企画展の開催や社会教育施設と連携・協働して事業を実施するなど、市民の文化芸術に親しむ機会の創出に取り組みます。

- 文化会館で実施した自主文化事業では、アンケート回答者の約97%が高い満足度を示していることから、今後も魅力ある公演を実施するため、市民が参加しやすい価格設定となるよう補助金等の財源確保や公演事業の誘致に努め、市民の鑑賞機会の創出に取り組みます。
- クリスタルホールの入場者数については、増加の余地があり、また、収支改善につながることから、今後もアンケート結果を踏まえ、質の高い公演事業を企画するとともに、きめ細やかな周知に努め、より多くの市民が優れた音楽芸術に触れられる機会を創出していきます。

*1 アウトリーチ：手を伸ばすこと、手を差しのべること。公的機関や文化施設などによる地域への出張サービス等のこと。

また、市民の文化芸術への関心を高めるために、音楽芸術の拠点施設としての大雪クリスタルホールそのものの周知も含め、工夫を凝らした広報手法について検討します。

- 公民館では、今後も館内での展示・発表を行える環境づくりを継続し、多彩なジャンルの文化芸術に気軽に触れることができる機会の充実を図ります。

特に、木楽輪での「夢コンサート」は、例年、出演希望者・観覧者ともに多いことから、夢コンサート及びグランドピアノの開放を継続実施し、アマチュア演奏家の活動の場と市民が気軽に音楽や文化・芸術に触れることができる機会を引き続き提供していきます。

- 図書館で実施した事業のアンケートでは、回答者の約98%が、市民が気軽に文化芸術に触れる機会を提供する図書館の取組を評価しています。今後も、図書館ボランティア団体や公民館サークル、美術館などと協力しながら様々な事業を通して文化芸術に触れる機会の提供に努めていきます。

<4-1-2 文化芸術活動への支援>

- 文化振興課では、引き続き、リハーサルホールや市民ギャラリーを文化芸術活動の場として提供していくとともに、補助金交付により団体の活動を支援し、ハードとソフトの両面から文化芸術活動への支援に取り組んでいきます。

- 文化会館では、ホール設備を活用し技術者から実践的な演劇技術を学ぶ機会である舞台技術講習会を、引き続き実施していきます。

ACAGについては、文化芸術活動への興味や関心を若い世代から高める取組の充実が必要であることから、事業内容を検討し、引き続き、若手作家が日頃の活動成果を発表する機会となるよう取り組みます。

- クリスタルホールでは、文化芸術活動への興味や関心を高める取組の充実が必要であることから、引き続き事業内容の検討を行います。

また、市民広報誌やマスメディア等の各種広報媒体を活用した周知を充実させるとともに、子ども向けの企画事業については、学校と連携して周知するなどの手法を検討していきます。

- 公民館では、公民館まつり等で生涯学習活動団体の発表の場や団体間の連携の機会創出等により団体活動を支援していますが、団体構成員の高齢化が進んでおり、より多くの団体が主体的に関わってもらうための働きかけを工夫し、公民館での活動を通して団体の活性化につながるよう支援を継続していきます。

【成果目標 5】市民が、地域を知り、郷土への愛着を深めることができるよう、アイヌ文化をはじめ地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等の魅力を発信するとともに、その保存・活用に努め、次代へ引き継ぎます。

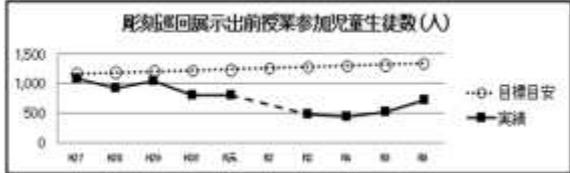
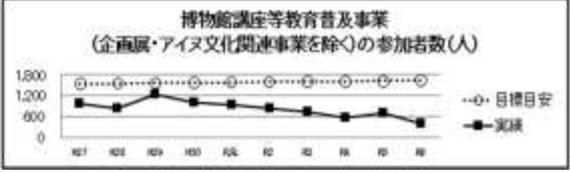
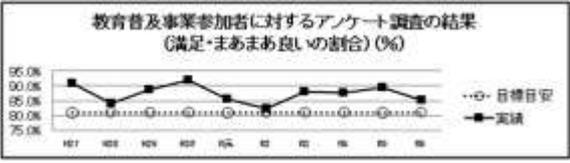
I 活動指標及び成果指標の状況

1 施設等の利用者及び事業参加者の意識について

(1) 活動指標（行政の取組に対する評価）

活動指標 1		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
郷土の文化や歴史に関する保存資料数	中央図書館	78,400 点	74,850 点	未達成	↘
	博物館	2,548 点	2,788 点	達成	—
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>中央図書館</p> <p>中央図書館郷土資料の所蔵点数(点)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>博物館</p> <p>民族資料整理に伴い出版する目録への掲載点数(点)</p> </div> </div>					
活動指標 2		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
アイヌ文化に関する事業への参加者数	文化振興課	—	事業未実施	—	—
	博物館	3,096 人	2,052 人	未達成	↘
<p>博物館*1</p> <p>アイヌ文化ふれあいまつり及びアイヌ文化に親しむ日の参加者数(人)</p>					
<p>文化振興課 ※R5 調査未実施、R6 参加者を募る事業未実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ文化関連事業への参加者数 					
活動指標 3		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等を保存・活用していると感じる利用者の割合	文化振興課	—	調査未実施	—	—
	中央図書館	—	調査未実施	—	—
<p>文化振興課 ※R5・R6 調査未実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査（文化財来訪者及びアイヌ文化関連事業参加者） <p>中央図書館 ※R5・R6 調査未実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート調査 					

*1 H29は台風、R2～R4は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からアイヌ文化ふれあいまつりが中止となったため、アイヌ文化に親しむ日のみの参加者数

活動指標 4		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較	
郷土の文化を知る取組への参加者数	社会教育課	3,778人	3,327人	未達成	⬇	
	文化振興課	9件	14件	達成	—	
	彫刻美術館	彫刻巡回展示出前授業の参加児童生徒数	1,337人	730人	未達成	⬇
		彫刻散歩の参加者数	8人	20人	達成	—
	博物館	博物館講座等教育普及事業の参加者数	1,646人	406人	未達成	⬇
アイヌ文化ふれあいまつり及び博物館企画展の参加者数		11,330人	10,407人	未達成	⬇	
社会教育課 ・参加者数（ジオパーク構想推進事業） 3,778人（R5：調査開始）→3,327人（R6） 彫刻美術館*1		文化振興課 ・受賞候補推薦数 8件（R5：調査開始）→14件（R6） 博物館				
						
彫刻美術館 ・参加者数（彫刻散歩） R5：調査未実施 → 20人（R6）		博物館 ・参加者数（ふれあいまつり及び企画展） 11,218人（R5：調査開始）→10,407人（R6）				
活動指標 5		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較	
アイヌ文化をはじめ地域に根付いた文化に関する講座等への参加者の満足度		博物館	81.1%	85.2%	達成	—
博物館 						
活動指標 6		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較	
チラシやSNSなどで、郷土の文化や文化財等の魅力を発信した回数		文化振興課	7回	23回	達成	—
文化振興課 ・チラシ設置及びSNS投稿の回数（井上靖記念館、所蔵絵画展） 6回（R5：調査開始）→23回（R6）						
活動指標 7		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較	
地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等の魅力を発信していると感じる利用者の割合		社会教育課	—	調査未実施	—	
		文化振興課	—	調査未実施	—	
		彫刻美術館	—	調査未実施	—	
社会教育課 ※R5・R6 調査未実施 ・参加者アンケート調査（ジオパーク構想推進事業） 文化振興課 ※R5・R6 調査未実施 ・利用者アンケート調査（井上靖記念館） 彫刻美術館 ※R5・R6 調査未実施 ・利用者アンケート調査						

*1 R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止

(2) 成果指標（施設等の利用者及び事業参加者の意識や行動）

成果指標 1		目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成状況	R5実績値との比較
郷土への愛着が深まった参加者の割合	社会教育課	95.0%	95.0%	達成	—
	文化振興課	—	調査未実施	—	—
	彫刻美術館	—	調査未実施	—	—
	中央図書館	—	調査未実施	—	—
	博物館	91.6%	82.3%	未達成	⬇
	全体	93.3%	88.7%	未達成	⬇
社会教育課 ・参加者アンケート調査（ジオパーク構想推進事業） 94.0% (R5：調査開始) → 95.0% (R6)		博物館 ・アンケート調査（事業参加者及び施設利用者） 90.5% (R5：調査開始) → 82.3% (R6)			
中央図書館 ・アンケート調査（利用者） 94.0% (R5：調査開始) → R6 調査未実施		全体 ・アンケート調査 92.8% (R5：調査開始) → 88.7% (R6)			
文化振興課 ※R5・R6 調査未実施 ・アンケート調査（所管施設利用者及び事業参加者）					
彫刻美術館 ※R5・R6 調査未実施 ・参加者アンケート調査（各種事業）					

2 市民の意識について

(1) 活動指標（行政の取組に対する評価）

活動指標 8		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等を保存・活用していると感じる市民の割合	市政モニター	41.5%	40.5%	⬇
・市政モニターアンケート調査 41.5% (R5：調査開始) → 40.5% (R6)				
活動指標 9		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R5実績値との比較
歴史的文化財や街並みが保存されず、活用されていないと感じている市民の割合	市民アンケート	2.5%	—	—
活動指標 10		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R5実績値との比較
地域の郷土芸能が保存・継承されていないと感じている市民の割合	市民アンケート	2.1%	—	—
活動指標 11		実績値 (R5)	実績値 (R6)	R5実績値との比較
地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等の魅力を発信していると感じる市民の割合	市政モニター	32.7%	29.8%	⬇
・市政モニターアンケート調査 32.7% (R5：調査開始) → 29.8% (R6)				
活動指標 12		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R5実績値との比較
文化芸術活動についての情報が少ないと感じている市民の割合	市民アンケート	13.5%	—	—
活動指標 13		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R5実績値との比較
個性豊かな北国らしい文化の振興に満足している市民の割合	市民アンケート	19.8%	—	—

(2) 成果指標（市民の意識や行動）

成果指標 2		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R5 実績値との比較
旭川市に愛着や親しみを感じている市民の割合	市民アンケート	77.4%	—	—
成果指標 3		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R5 実績値との比較
旭川市を文化・文化芸術活動が盛んなまちだと思う市民の割合	市民アンケート	27.1%	—	—
成果指標 4		実績値 (R5)	実績値 (R7)	R5 実績値との比較
個性豊かな北国らしい文化の振興が重要と感じている市民の割合	市民アンケート	46.7%	—	—

II 取組の状況

【基本施策 5 - 1 郷土の文化の保存・活用と郷土愛の育成】

主な取組 5 - 1 - 1 郷土の文化や歴史的資料の適切な保存と有効活用

1 文化財等の適切な保存と継承

- 文化振興課では、草刈りや清掃などを通して文化財等の環境整備に当たるとともに、農作試験所の木戸の破損や倒壊した史跡表示板の復旧を行うなど、修復や養生が必要な文化財等への対処を行うことで、適切な保存と管理に努めました。

優優良織については、昨年までに引き続き織子育成を助成するとともに、市民や観光客向けの織体験会の実施を支援することで地場の工芸技術への関心を高め、織従事者の増による技術の伝承に努めました。

2 貴重な文化財等を活用した郷土の歴史を後世に伝える取組の推進

- 文化振興課では、アイヌ団体や有識者と意見を交えながら、アイヌ施策の推進を図るための地域計画を作成しました。
- 博物館では、地域やアイヌの歴史に関する資料を展示するとともに、アイヌ文化・歴史を紹介する講座やイベントを開催し、アイヌ関連講座の参加者アンケートでは90%以上の方が「アイヌ文化や地域の歴史に関心を持った」と回答するなど、市民に郷土の歴史を伝えることができました。

3 歴史的資料の収集・保存と整理

- 文化振興課では、市内のアイヌ団体と協力し、アイヌ文化を紹介するとともに文化を文字として保存するために、「チカラペ（ものづくり）」「キナ・ニ（草・木）」「ウポボ（舞踊）」の3種類の小冊子を作成しました。
- 中央図書館では、次世代へ継承する郷土資料について、984点の新規受入を行いました。収集した資料を活用し企画展示や旭川叢書の発刊、市史デジタルアーカイブとの連携など、広く市民に、郷土の歴史と魅力に触れ学ぶ機会の提供と情報発信を行いました。
- 博物館では、地域の歴史や文化に関する資料を収集するとともに、温度・湿度を管理した展示室での展示及び収蔵庫での保管により、適切に歴史的資料の収集・保存を行いました。

1 郷土の文化に接する機会や、郷土を再発見し愛着や誇りを高める取組の充実

- ・ 社会教育課では、地域の特徴的な自然や文化を題材とした講座やツアーを開催したほか、各種イベントでアイヌ文化に触れるワークショップを行い、郷土愛について調査したアンケート結果では95%の方が郷土愛が深まったと回答していることから、郷土への愛着や誇りを高めることにつながりました。
- ・ 文化振興課が開催した旭川市文化賞では、前年より多くの候補者推薦を受け、身近にある優れた文化の再発見を促す機会とすることができました。
- ・ 彫刻美術館では、市で唯一、国の重要文化財の指定を受けた「旧旭川偕行社」を活用していることから、建物の適切な維持管理に努めるとともに、市民の観覧に供することで、郷土への愛着や誇りを高める取組を進めることができました。
- ・ 公民館では、地域を巡るバスツアーや歴史再発見講座を実施し、事業後アンケートでは「地域に根付いた文化、ゆかりの文化財等を保存・活用していると思うか」について、肯定的な回答が90.3%であり、郷土を知ることのできる学習機会の取組を進めることができました。
- ・ 博物館では、地域やアイヌの歴史に関する資料を展示するとともに、アイヌ文化・歴史を紹介する講座や川とともに暮らしてきた旭川の人たちの歩みをテーマとした企画展等を開催しました。アイヌ関連講座の参加者アンケートでは90%以上、企画展のアンケートでも90%近くの方が「アイヌ文化や地域の歴史に関心を持った」と回答するなど、市民に郷土の文化を伝え、愛着を高める取組を行うことができました。

2 郷土の文化に関する情報発信の充実と理解の促進

- ・ 社会教育課では、地域の特徴的な自然や文化を題材として実施した講座やツアー、ワークショップの様子を大雪山カムイミンタラジオパーク構想推進協議会のホームページやSNS等により情報発信を行いました。
- ・ 博物館では、地域やアイヌの歴史に関する資料を展示し、アイヌ文化・歴史を紹介する講座等を開催するとともに、博物館のSNS等によりそれらの情報発信を行いました。

Ⅲ 課題と改善に向けた今後の方向性

活発な文化芸術活動は、地域への愛情と誇りを人々の心に育て、活力ある地域社会の形成に役立つものです。また、先人から受け継いだ歴史と、これまで培われてきた文化を尊重し、次代へ継承するといった責任を果たすことも重要です。

本市では、郷土愛の育成に取り組むとともに、文化財やアイヌ文化、音楽・彫刻・文学・工芸品などの、魅力ある地域資源の保存と更なる活用により、旭川らしさの発信に取り組めます。

〈基本目標 5 郷土文化の保存・活用と郷土愛の育成〉

実施したアンケート調査では、「郷土への愛着が深まった」と回答した利用者は約89%で、前年度より減少していることから、展示方法の工夫やイベントの開催のほか、各種学校への出前授業、他部局と連携したイベントへの出展など様々な手法を検討し、更なる郷土愛の醸成を目指します。

また、市政モニターアンケートにおいて、「地域に根付いた文化や文化財等を保存・活用していると感じる」と回答した方は40.5%、「地域に根ざした文化、ゆかりの文化財等の魅力を発信していると感じる」と回答した方は29.8%で、いずれも前年度より減少しており、引き続き、情報発信が不足している結果となりました。

郷土文化について、多くの方に興味や関心を持ってもらうための工夫を検討するとともに、情報を誰に届けるのかを明確にし、対象者に合った適切な方法での情報発信に取り組めます。

＜5－1－1 郷土の文化や歴史的資料の適切な保存と有効活用＞

- 文化振興課では、それぞれの文化財等の状況の把握に努めながら、必要な措置を講じていくことで適切な保存を図っていきます。

アイヌ施策の推進では、アイヌ団体との協力体制が必須であることから、関係団体との緊密な連携に努めるとともに多彩な文化伝承事業を行うなど、貴重な郷土文化の保存と市民がそれらに触れ親しむ機会の創出に努めます。

優佳良織の保存・伝承については織子の増加が不可欠であることから、優佳良織の周知普及への支援を継続しながら市民の関心を高めることに努めます。

- 中央図書館では、郷土資料の収集を継続して行い、昭和54年から継続して行っている市内各所の定点写真を撮影し、街並みの記録・保存を行っていきます。

郷土資料の収集保存については、歴史的資料の購入と郷土資料の寄贈を広く依頼するなどしながら、次世代へ継承する郷土資料の収集・保存に努めていきます。また、旭川市史デジタルアーカイブを活用しながら、市民の地元旭川への更なる愛着の醸成に努めていきます。

- 博物館では、昨年度に比べ来館者数が増加し、より多くの市民や観光客に地域の歴史や文化を伝えることができましたが、より一層、多くの来館者に地域の魅力を伝えるために、展示の工夫や魅力的な講座・イベントの企画に取り組みます。

＜5－1－2 郷土愛を育むための取組の推進＞

- 社会教育課で進めているジオパーク構想に関連して、多数の出展者が集結し、ワークショップや体験活動を実施した「ジオフェス」を開催しました。

開催後に実施したアンケート調査では、参加者の95%が「住んでいる地域（まち）のことが好きになった」と回答している結果を踏まえ、郷土への愛着や誇りを高める成果が得られているものと考え、今後も事業の継続と充実を図っていきます。

- 文化振興課が所管する旭川市文化賞や井上靖記念館の事業において、情報発信や鑑賞機会の充実に努めることで郷土の優れた文化への気付きを促し、郷土愛の促進に努めていきます。
- 彫刻美術館の建物である旧旭川偕行社の保存・活用については、必要に応じて文化庁等からの助言・指導を仰ぎながら、建物の適切な維持管理に努め、重要文化財の魅力を発信していきます。

また、旧旭川偕行社の外観の観覧者を彫刻美術館の来館に結びつけ、来館者増につながるよう優れた彫刻作品や旭川ゆかりの彫刻家である中原悌二郎など、本市の文化芸術の振興や郷土の歴史の再発見につながる情報発信等の取組を進めていきます。

さらに、周辺には、井上靖記念館やいくつもの野外彫刻が設置されている春光園もあるため、周辺地域一体となった魅力発信に努めます。

- 博物館では、まちの歩みを写真で振り返る企画展を開催するとともに、参加者の関心や習熟度に応じて講座の内容を見直すなど、地域の魅力をさらに伝えることができるよう、企画展や地域の文化・歴史を題材にした講座等の充実に取り組みます。
- 公民館では、地域の魅力の再発見や地域の特性を生かした講座を地域団体と連携して実施することにより、地域への理解や郷土愛が深まるよう努めていきます。